

a&s

The Professional Magazine Providing Total Security Solutions

JAPAN

www.asmag.com JAN/FEB. 2011 NO.20

2010年の総括と 2011年の展望



ROD
Respect on Demand

NASベースのNVRにモニタ出力機能が追加
VioStor Proシリーズ

録画ソフトウェアの メインストリーム。

防犯・監視カメラを

もつと便利に、

もつと使いやすく。



KxViewPro

- ・マルチベンダ対応で複数メーカーのネットワークカメラ混在可能
- ・デュアルモニター対応で再生画面、ライブ分割画面を同時表示可能
- ・MAP画面よりカメラ呼び出し、ライブ画面表示
- ・再生画面モーション解析で見たい場面のみを再生
- ・ライブマルチ画面で複数拠点の管理も容易
- ・9台用、16台用、32台用、64台用 (NEW) をラインナップ
最大640台のカメラを登録可能

KxViewHyper **NEW!**

- ・H.264に対応
- ・優れた圧縮率でスムーズな再生映像
- ・4台用、9台用、16台用

■新発売!!

顔認証システム『顔みわけ〜る』

- ・ネットワークカメラと最新の顔認証技術を組み合わせ、認証した人物とデータベース上のブラックリストやVIPリストを高速で照合しポップアップ表示
- ・顧客管理、入退室管理にも活用可能

「車両ナンバープレート認識エンジン」

- ・基本エンジンを独自の認識アルゴリズムで一から設計、高性能、低価格を実現
- ・自社開発なので誤認識調整やご当地ナンバー等「地名」の変更・追加も迅速に対応可能
- ・車両ナンバープレート認識エンジンを利用することであらゆるシステム構築が可能

各種ソフトウェア、画像解析システムのカスタマイズお受けします!



株式会社ネットカムシステムズ

E-mail: netcam@ncam.net

http://www.kxview.net

■本社・秋葉原ショールーム
東京都千代田区外神田3-10-3
プライム秋葉原ビル7F
TEL 03-5207-8591

■大阪支店
大阪府大阪市中央区道修町1-3-3
戎道修町ビル4F
TEL 06-6232-3832



表紙特集 COVER STORY

- 4 NASベースのNVRにモニタ出力機能を追加
VioStor Proシリーズ

特集 SPECIAL FEATURE

12 2010年の総括と 2011年の展望

新製品情報 PRODUCT INFO

- 42 映像機器、入退機器、その他

イベントリポート SHOW REVIEW

- 32 ケーティーワークショップ、
IP監視カメラシステム展を開催
- 33 アクシスコミュニケーションズ、
パートナーカンファレンスを開催

展示会情報 SHOW CALENDER

- 34 国内および海外の
主要展示会を網羅

注目製品解説 JUST LAUNCH

- 36 パナソニック システムソリューションズ ジャパン、
パーラーIPグラフィックシステムを発表
- 37 ソニー、フルHD対応ドーム型と720pHDボックス型を発表
- 38 ナブコシステムと岩崎通信機、無線認証システムを共同開発
- 39 日立製作所、組込用指静脈認証ユニットを販売開始
- 40 リスペクトシステムズ、鍵管理システムの普及版を発表

6 国内産業ニュース

8 海外産業ニュース

47 読者の声



2011年、 A&S JAPANは挑戦します

読者の皆様

本誌A&S JAPANは2007年10月、A&Sグループの日本法人A&S JAPAN株式会社により創刊されました。その後2009年にはA&Sグループがメッセフランクフルト社との統合に伴い、a&s JAPANと改題した本誌は、2010年1月号からメサゴ・メッセフランクフルト株式会社が皆様のお手許にお届けしてきました。そして、2011年、a&s JAPANはさらに挑戦することになりました。その第一弾として、本号より先進セキュリティの情報誌を意味するAdvanced Security Journalの頭文字をとったASJ社がa&s JAPAN誌をお送りすることになりました。

あらゆるメディアが今、その存在意義から伝達方法まで大転換を迎えています。媒体で最古の歴史を持つ印刷メディアにおいては、多くの新聞や雑誌がその存在意義を問われ、発行部数の伸び悩みと直面しています。また、電波メディアもマスメディアとしての評価に大きな変化が表れ、さらに、インターネットやケータイによる通信メディアでも、存在と評価に大きな違いが生じています。

このような中、本誌a&s JAPANはなぜ印刷メディアとして存在し続けるのかについて簡単にご説明します。本誌がカバーしているセキュリティ産業界では、情報発信するメディアが限られています。しかし、その一方で、急速な進歩を遂げるセキュリティ市場や個々のシステムにつ

いて、もっと情報を入手したい産業関係者やユーザの方々がいます。その規模は、小さな範囲での展開ではなく、まさに世界規模、地球規模での展開です。つまり、世界標準や世界デファクトスタンダードを理解する必要があります。

その一方で、最新セキュリティに関する理解と実践を身につけるには、情報入手の原点である「読む、見る」から始めるのが最も確実です。そしてその情報入手は、旧来の印刷メディアである雑誌にだけでなく、どこでも読むことができるウェブ雑誌を読むことができる環境が今一般的です。

このような状況を踏まえ、本誌a&s JAPANは、印刷メディアから通信メディアまでを最大限に活用した情報発信と情報交流に挑戦します。そして、セキュリティ産業界に微力ながらも貢献することを目指します。

本誌は、a&sの版權を有するメッセフランクフルト・ニューエラ社と従前以上の緊密な関係を構築して、日本のセキュリティ産業界を支えるとともに、日本からの情報発信にも注力します。

つきましては、挑戦を続ける新生a&s JAPANへのご支援を謹んでお願い申し上げます。

A&S JAPAN 発行人
小森堅司

A&S JAPAN ©ASJ社 2011年1-2月号 No.20

The Professional Magazine Providing Total Security Solutions

市場動向 | 製品情報 | 技術情報 | ソリューション情報
最新の市場動向と新しい製品や技術の紹介、統合ノウハウ、国内外の事例を幅広く提供します。

発行人 小森 堅司
制作協力 Draw The Line
Office103
サイドディッシュ
印刷 新日本印刷

a&s JAPANはMesse Frankfurt New Era Mediaが発行するa&s International、a&s Asiaをはじめとするa&s各誌の独占翻訳権を特約して発行しているセキュリティ国際情報誌です。

ASJ社
Advanced Security Journal Corporation Limited.
東京都千代田区神田須田町1-7-1ウィン神田ビル10階 〒101-0041
電話：03-6206-0448 F A X：03-6206-0452

■広告に関するお問い合わせ

電話：03-6206-0448または
E-mail：komori@asj-corp.jpまで

■購読に関するお問い合わせ

電話：03-6206-0448または
E-mail：reader@asj-corp.jpまで

■記事情報提供に関するお問い合わせ

E-mail：marie-k@asj-corp.jpまで

※DM代行サービスおよび電子メール配信サービス当社では、広告主の依頼によりダイレクトメールまたは電子メールで広告情報をお届けすることがあります。これらのサービスでは、読者の皆様の個人情報を広告主に一切公開していません。

HD-SDI メガピクセルカメラ

遅延の無いリアルタイム映像

非圧縮HD映像を同軸ケーブルで伝送します。



非圧縮メガピクセル映像!!



ネットワーク監視ソリューション!!

**豊富なラインナップ
VGA から 2メガピクセルまで
ボックス型からドーム・PTZタイプ**



Intelligent IR Camera

CNB からインテリジェント IR (アンチサーチレーション技術) カメラ新登場

インテリジェント IR 機能搭載! 高解像度デイトナイトカメラ

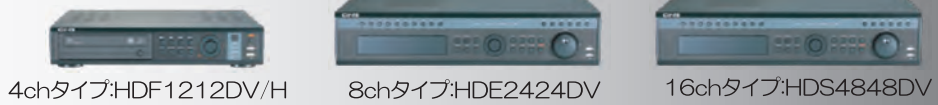
インテリジェント IR 技術とは?



最新インテリジェント IR 機能搭載全天候型デイトナイトカメラ
CNB テクノロジー社から新機能搭載商品ぞくぞく登場予定
インテリジェント IR 機能はMonalisaDSPのみの機能です。



各種スマートフォンに対応!!!
さらに進化するH.264デジタルレコーダー
ネットワーク機能と長時間高画質録画



スマートフォンの機種によりインターネットを環境を通してDVRに接続できない又はご覧いただけない場合がございます。DVRにおいてはF/Wアップグレードが必要な場合がございます。



CNB Technology Inc. 日本総販売代理店
株式会社店舗プランニングセキュリティ事業部
〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷2-21-4 幡ヶ谷ファーストビルディング2階
TEL.03-3378-4901 FAX.03-3378-4906
仙台営業所 名古屋営業所 大阪営業所 福岡営業所 技術センター
<http://www.tenpo.co.jp> 製造元 CNB Technology Inc.

第19回 セキュリティ・安全管理総合展
SECURITY SHOW 2011
SECURITY SHOW 2011 に出展いたします

ROD
Respect on Demand

NASベースのNVRにモニタ出力機能が追加 VioStor Proシリーズ

IPカメラのシェア逆転の 嚆矢となるか？

大勢としてはCCTVのシェアがIPカメラに取って代わられるのは仕方がないとして、それがいつになるかはまだまだわからない。が、日本におけるテレビ放送が完全デジタル化される来年2011年は、一つの転機となりそうだ。HD画質の映像に見慣れたユーザーは、低解像度の防犯カメラでは満足できなくなる、というわけである。

メガピクセル、HDカメラの需要が伸びれば、必然的にIPカメラのシェアも拡大する。

そこで求められるのが、そうした高解

像度IPカメラを誰でも簡単に運用できるデバイス。今以上にIPカメラが普及するということは、これまでIPカメラに触れたことのないユーザーも扱うようになるからだ。

そうしたニーズを満たす製品が、VioStor Pro(バイオスター・プロ)シリーズである。

NVRをさらに使いやすく

「一言でまとめると、これまでのVioStorにモニタ出力の機能をつけた、ということになります」と、本当に一言でまとめてしまったのは、㈱R.O.Dの営業部長 池田治氏。

VioStorをはじめ、従来のNASタイプのネットワーク・ビデオ・レコーダー(NVR)はモニタ出力ができなかった。もともとNASを筐体として利用している以上、PCでの接続が前提であり、その必要がなかった。また日本では、監視カメラの常時モニタリングの需要が小さく、「何かあった時だけ確認できればいい」という使い方が主流で、必要な時だけPCで接続するという運用で問題なかったのである。

しかしネットワーク・カメラがCCTVに取って代わられるようになると、常時モニタリングを求める声が高まってきた。加えて、CCTVの代わりにネットワーク・



VioStor-2012 Pro



VioStor-4016 Pro



VioStor-6020 Pro

NEW!

カメラが使われるということは、PCに馴染みのないユーザーでもNVRが使えなくてはならない、という必然も生じる。そう、デジレコのように。

「いやいや、デジレコよりもむしろ操作は簡単かもしれません。最近のデジレコは機能が増えたぶん、操作が複雑になっているでしょう。VioStor Proシリーズはマウスでクリックするだけで殆どの操作ができるんですよ」と池田氏。

ローカルでもPCからでも

確かに操作は簡単だ。電源を入れるとシステムが起動し、しばらくすると認証画面が表示される。本体に接続したUSBキーボードかマウスを使った仮想キーボードでユーザー名とパスワードを入力すればログインでき、モニタリング画面が表示される。

モニタリング画面で同時に表示できるのは1~12台まで。表示する画像サイズに合わせて、最適な解像度でカメラのライブ映像が表示される。メガピクセル・カメラなら、高解像度のクリアな映像を確認できる(マルチストリーム対応の場合。未対応の時は録画解像度に準じ

る)。


モニタリング画面のレイアウトはワンクリックで変更可能で、シーケンシャル表示、スマートPTZなどに対応している。

録画再生画面への移動もワンクリック。再生したいカメラと時間を選択するだけで、すぐに再生が始まる。実にシンプル。画像解析をはじめとするインテリジェント機能はないが、ライブ映像を見る/録画データを再生するという、実際に必要とされる機能は実装されている。なお、各種設定もローカル・ディスプレイ上で行うことができる。

もちろん、PCを通してVioStorに接続すれば、従来のNVR機能を活用できる。CMS(中央管理ソフトウェア)なしで複数台のVioStorをブラウザ上で管理することも、カメラの自動巡回やマルチ・チャンネル再生、IVA(インテリジェント・ビデオ解析)も行える。バージョン3.2.2からは詳細アラーム設定がサポートされ、従来のトリガー/アクションの他、ユーザー指定のCGIを活用できるようになったので、他社製ソフトウェアやネットワーク・デバイスと組み合わせること

が容易になった。例えば本格的な顔認証ソフトをPCで運用し、リストに登録されている人物が現れたらカメラを特定の方向に向けて録画を開始する、さらにブザーやパトライトの電源をオンにする、といったシステムも簡単に組めるようになった。

ローカルでは誰にでも必要な機能が使えるように、PCからではより高度な機能を簡単に使えるように、という二つの顔を持つのが「VioStor Pro」だ。

搭載するHDDの数と録画可能なチャンネル数により、2012、4016、6020の3モデルがリリースされる。Proシリーズが市場に投入されることにより、ネットワーク・カメラのシェア拡大に拍車がかかるのは間違いないだろう。問い合わせはR.O.Dまで(06-6537-1233)。 

www.rodweb.co.jp

株式会社R.O.D

〒550-0012 大阪市西区立売堀1-7-18

国際通信ビル6階

電話：06-6537-1233

FAX：06-6537-1377

E-mail：info@rodweb.co.jp

アイティフォー、自動検知システムに エントリー版登場

アイティフォーは、デジタルビデオ自動検知システム「ナイスビジョン」の新ラインナップとして、監視カメラの録画・再生機能に特化したエントリー版「ナイスビジョン・エクスプレス(以下、エクスプレス)」など3製品を2011年1月11日より販売開始した。

ナイスビジョンは2005年の発売以来、監視映像を容易に検知・検索できることが高く評価され導入が進んでいるものの、ハイエンド製品のみであることからエントリー版の投入が求められていた。エクスプレスは、機能を録画・再生に特化することで初期投資コストを抑え、デジタルビデオ自動検知機能を持つ上位機種へあとから差額プラスαで容易にアップグレードできるものである。価格はオープン価格。

空港、鉄道、高級マンションなどに加え、パイロット導入や小規模施設での採用も積極的に推進し、従来のハイエンド製品を含め、今後1年間で5億円の売上を目指す。

東急セキュリティ、無人型営業店舗向け ソリューションの提供開始

東急セキュリティは、交通系ICカードのPASMO・Suicaを利用した入退室管理システム(ICカード乗車券de入退)と、警備会社としての強みである異常信号受信時の遠隔画像監視(防犯カメラ画像の伝送)および警備員駆け付けサービスをパッケージにした商品の提供を開始した。同システムは、ゲートに設置されたカード読取機にPASMO・Suicaをかざして入館することができ、入館する際の事前登録、登録削除は利用者が所有しているPASMO・Suicaの裏面に記載されている17桁の番号で運営者側が遠隔から行うことも可能である。警備会社ならではの駆け付けサービスを併用することにより、単なる入退室管理システムの設備導入だけではなく、無人でありながらも管理の目が行き届く施設として利用できる。今後、無人型営業店舗を運営している企業への販売を促進していく。



高千穂交易、小売業向け映像センシング・ クラウドサービスの取扱いを開始

高千穂交易は、映像解析ソリューションのリーディングカンパニーである会社構造計画研究所と提携し、小売店舗内での録画映像をコンピュータ解析し、販売促進支援の観点から数値化した分析結果をWEB上でタイムリーに提供する、小売業向け『映像センシング・クラウドサービス』の販売を2010年12月27日より開始している。

第一弾として、『男女年齢識別サービス』および『店内行動(棚寄付き)計測サービス』の販売を開始した。

『男女年齢識別サービス』とは、店舗の入り口にカメラを設置し、その映像から来店客の性別や年齢層(十歳単位)をリアルタイムに判定するサービスで、時刻・曜日・季節毎の来店客パターンを男女・年齢別にデータ化することにより、店舗側はその来店客層に沿った商品の選択・陳列・タイムセール等をより効果的に実施することができる。このサービスは、計測作業者が都度替わることの多い人手による計測と異なり、判定基準が常に一定であるため、来店客の傾向やその変化をより正確に把握することが可能である。

他方、『店内行動(棚寄付き)計測サービス』は、陳列棚・什器の天井部に設置したカメラの映像を分析することで、来店客の陳列商品への接触時間や頻度等をリアルタイムに計測するサービスである。このサービスを利用することによって、店舗側は顧客行動を客観的かつ精緻に把握することができ、棚に並べた商品の人気具合と実際の売上との比較や来店客の導線を意識した展示方法の検討など、より効果的・具体的な販売戦略の展開に繋げることができる。同社では、今後2年間で1000店舗の導入を目指す。

セコム、「Suica対応入退室管理システム」 を販売開始

セコムは、入退室管理システムの新たなラインアップとして、東日本旅客鉄道のICカード乗車券(Suica)に対応したシステムの販売を開始した。セコムでは既に、セコムワイヤレスICカード、MIFARE、eLWISSE、FelicaといったICカードに対応できる入退室管理システムの販売を行っているが、公共交通機関を利用する多くの方々が既に所有しているSuicaをセキュリティシステムの入退室管理用カードとして使用したいというニーズに応えた形だ。既に広く普及しているSuicaを入退室管理という日常に密着したシステムと融合することで、社会生活の利便性向上に更なる貢献が期待できる。

MOBOTIX JAPAN、MXアプライアンスサーバを販売

MOBOTIX JAPANは、日本IBMとIUKの協力の下、全方位ネットワークカメラQ24とIBM製x86サーバ\IBM System xを組み合わせたネットワークカメラ・アプライアンスのMXアプライアンスサーバの販売を開始した。販売価格は1千2百万円。

ネットワークカメラは、インターネットやLAN経由で、遠隔地の映像をリアルタイムに確認し保存することができることから、様々な用途で活用されてきている。また現今では、高画質とデータ保存量の増大化に対する要望も顕在化している。さらに、カメラ設置台数の増加やカメラの高性能化そしてITシステムとの連携などもあり、データ保存用ストレージ容量の増大化と煩雑となるシステム管理が課題となってきた。

MXアプライアンスサーバの基本構成は次の通り。

●MOBOTIX製全方位ネットワークカメラQ24 50台 ●管理ソフトウェアMxCC(MXControlCenter) ●24TB SASディスク標準搭載サーバ\IBM System x3630M3 ●5年間24時間365日オンサイト修理対応サポートシステム。

MXアプライアンスサーバは、MOBOTIX JAPANと販売代理店およびIUK経由で販売する。

今後3社は、それぞれ役割を分担し相互に補完しあう。MOBOTIX JAPANは、ネットワークカメラシステムの提案からカメラの調達、そして管理ソフトウェアMxCCに関するサポートを担当する。日本IBMはMOBOTIX JAPANに対し、当アプライアンスに関するセミナーの企画および運営、講師の派遣などのマーケティング活動を支援する。IUKは、MOBOTIX JAPANおよび販売代理店に対し、当アプライアンスの保守運用に必要なIBM System xに関する技術情報の提供と技術支援を行う。

ソニー、大日本印刷に業務用デジタルフォトプリンタ事業を譲渡

ソニーと大日本印刷(以下、DNP)は、ソニーが業務用デジタルフォトプリンタ事業(プリンタの製造を除く)をDNPへ譲渡することで合意し、2010年11月22日正式に事業譲渡契約を締結した。今回の事業譲渡に伴い、DNPはソニーが設置した写真即時プリントや証明写真用プリンタ向けに、昇華型プリントメディアを滞りなく供給する体制を構築する。なお、ソニーは今後も医療用途の業務用プリンタ事業は継続する。

本事業譲渡は、各国関連当局の承認等の取得が必要となる場合には、その取得を条件として実施される。事業譲渡実行日は2011年4月1日を予定している。

大日本印刷、魚眼レンズ撮影動画を画像補正する小型モジュールを開発

大日本印刷は、魚眼レンズカメラで撮影した動画をリアルタイムで平面画像に補正・変換する小型の魚眼補正コアモジュールを開発した。同社は、2009年6月に魚眼レンズカメラで撮影した映像をリアルタイムで平面画像に補正・変換する技術を開発し、各種インタフェースとともにFPGA評価ボードに実装して提供を開始した。今回、この技術のコア部分であるIP(FPGA)をモジュール化して提供する。本モジュールの利用により、システム会社や監視カメラ、FAカメラのメーカーは、魚眼レンズカメラの補正・変換機能を手軽に自社のカメラやシステムに組み込むことが可能となる。量産開始は、2011年春を予定している。

日立製作所、リアルタイム人物追跡技術を開発

日立製作所は、ウォークスルー型の爆発物探知装置と監視カメラ網を連携させ、服や手荷物から爆発物(手製爆薬)の成分が検出された人物の通行経路と現在位置をリアルタイムに追跡する技術を開発した。この技術は、同社独自の爆発物探知装置に類似画像高速検索技術を組み合わせ、さらに、施設内の監視カメラの画像の中から、爆発物が検出された人物の画像を繰り返し検索する検索アルゴリズムを新たに開発し、実現したものである。これにより、多くの人々が利用する駅やイベント会場などにおいて、歩行者の流れを妨げることなく、爆発物の探知と爆発物が検出された人物をリアルタイムに追跡することが可能となり、高いレベルのセキュリティを実現することが期待される。

アクシスコミュニケーションズ、ジャバテルと販売強化

アクシスコミュニケーションズ(以下、アクシス)は、カナダGenetec社の日本総代理店ジャバテルと販売提携を強化した。今回の提携により両社は、Genetec社製のIPビデオ監視ソフトウェア「オムニキャスト」を標準搭載したジャバテルのNVR「エイロク」と、アクシスの監視用ネットワークカメラを統合した、高信頼性のビデオ監視ソリューションを市場に提供する。また、ジャバテルの「エイロク」は、国内の中小規模のソリューションに対しても本格的な映像管理ソリューションを提供する。

RNCOS、英国映像監視市場を年率14%成長と予測

映像監視市場は、世界中でセキュリティと安全性への高まりにより、近年着実に伸長している。英国は、映像監視市場として世界の上位市場の1つである。

RNCOS研究報告書によると、英国はカメラ設置台数で世界最大市場の一つで、公共スペースでの映像監視は政府公認で、ホームセキュリティのような成長分野での市場拡大により、2010から2013年の間に平均14.5%程度増大することを予測している。

英国市場は、監視システムの設計と供給、導入と保守点検などにより持続可能な成長が見込まれている。歴史建築物の保守やビル新築でのセキュリティの必要性が、この成長を助長している。その結果、デジタルシステムとネットワークカメラが2013年までに市場を支配すると予期されている。この報告書は、国の監視市場でのキー・プレーヤと関連情報をもとに英国監視市場を分析している。

また、報告書は中南米と中東の監視市場側面についても記述している。対象国は、米国、カナダ、イタリア、ドイツ、ロシア、中国、タイ、マレーシア、台湾、インド、そしてブラジルなどである。その中で監視技術と地域的な傾向に関する分析を提供している。

成長著しいブラジル市場の光と影

IMSリサーチが最近発表した市場報告書「中南米市場でのCCTVと映像監視機器」によると、ブラジルの映像監視装置市場規模を2010年で1億米ドル以上と推定している。

ブラジル市場では、カメラメーカーから映像管理ソフトウェア供給会社までの間で節約志向が強い。必要に迫られないと導入しないのがブラジル流で、その分導入が決まれば即座に反応する市場である。また高い関税により国際ブランドの価格が高くなってしまふ。その結果、低価格製品の市場参入機会をもたらしている。

しかし問題は山積している。ブラジルの大手ベンダは国際舞台で競争することができない。何社かは中南米の他国に進出している。しかし、競争はどこでも激しく、さらに技術革新の速さにベンダが追従していくには、研究開発にも投資しなければならない。事実、中国メーカーのHikvisionは中国市場の映像監視製品の著しい消費の伸びにより、急速な成長を手にした。さらに、ロシアのITVであるアクソンソフト社は活動を海外で拡大して得た利益で、国内市場の優位性を保つために資本を投下している。

導入準備が整ったIPビデオドア電話市場

IMSリサーチは、大規模IPビデオドア電話市場で競争が始まったと報告している。「限られた少数企業が現在完成されたIPビデオドア電話システムを提供している。そして、その他の大多数の会社はビデオドア電話市場のキー・プレーヤにはなれそうにない。市場占有を確立した企業は、成長しながらIP製品を開始している」と分析している。

セキュリティ分野ですでに導入されているIPシステムを活用して、経験豊かなIP映像監視企業やVoIPベンダや通信会社が、市場で強いビデオドア電話メーカーを『越える』機会が現れたことになる。IPビデオドア電話の設計、製造、設置が要求される技術と専門知識は、従来のビデオドア電話のそれとは大きく異なることがその要因である。

さらに、IPビデオドア電話は、装置利用範囲をビデオドア電話と統合する遠隔制御や修正された画像解像度や能力などの機能をユーザに提供することができる。しかし、IPビデオドア電話の導入費用が、複数の有線通信システムより現在かなり高いのが難点である。

IPが現在のビデオドア電話技術に取って代わるには、より小規模事業で競争することができる必要がある。これは限界までのコスト削減が必要だ。

ONVIF企画準拠製品数が600以上となる

ONVIFは、ONVIF規格準拠製品がネットワークカメラと映像管理システムを含めて600以上に達したと発表した。ONVIF規格準拠製品の増加が加速していることにより、エンドユーザ、構築業者、コンサルタントなどがセキュリティソリューションを複数ベンダの製品で簡単に構成することができるようになってきている。

ONVIF規格準拠製品数は現在、市場にはこの3ヵ月内にちょうど二倍になった600以上ある。ONVIF参加企業数は、270社以上にまで増加している。最近発表されたONVIFコア仕様2.0は、ONVIFの範囲をビデオ保管、表示装置、映像解析と周辺領域まで広げている。

「3ヵ月前の2010年10月でのONVIF規格準拠製品数は、約300だった。その後2倍にまで増加した。これは、産業がONVIFをインタフェースとして受け入れたことを示している」とONVIFスターリング委員会ジョナス・アンダースソン議長は語っている。

また、ONVIF規格準拠製品数の増加とともに、ONVIF参加企業数もフルメンバ17社、コントリビューティング・メンバ23社、ユーザメンバ231社と270社以上に増加した。

比べて選ぶ!

180°パノラマネットワークカメラ M24M-Secure-HEMI-D11

Security-Vision-Systems



従来の30万画素カメラ4台分の範囲を1台のM24M-Secure-HEMIで監視できます。

More Camera For Less. Guaranteed!

MOBOTIXが提供するM24M-Secure-HEMI-D11は、300万画素、180°のパノラマ映像を提供することができます。これにより、通常45°画角のカメラ4台分を1台で表示することが可能となり、導入コストを削減することができます。また、広範囲の監視対象を一元でモニターすることが可能となり、高いコストパフォーマンスを実現します。

IP66を取得し、室内での使用のみならず、屋外環境でも使用できます。



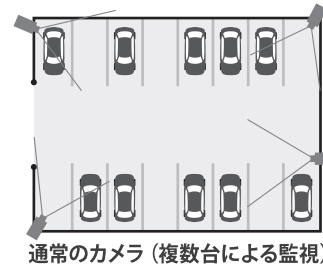
M24M-Secure-HEMI 180° パノラマ画像

MOBOTIXの高解像度システムによって、最大6台のカメラを1台で...

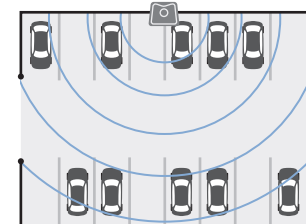
- 180°半球レンズ搭載
- 180°パノラマ画像をウェブ用から監視用まで、様々なアプリケーションに適用
- 壁、柱、天井に、簡単にシンプルな設置
- 頑丈、低メンテナンス、屋外対応 -30°C~+60°C (IP66)
- デジタル連続ズーム、パン/チルト
- 内蔵マイクとスピーカー
- ネットワーク負荷なく高解像度ビデオ録画できる内蔵DVR (最大32GBのMicroSDカード)
- DVR/NVRや録画ソフトを必要とせず、大容量NASに直接長期保存

MxCC 画像管理ソフト [フリーダウンロード](#)

- ▶ 1200fps (VGA) ライブ表示
- ▶ カメラ台数、ユーザー数制限なし
- ▶ マップビュー
- ▶ 自由な画面デザイン
- ▶ 高度な画像検索機能
- ▶ 音声付動画再生
- ▶ AVI、MJPEG、H.264フォーマットで書き出し可能



通常のカメラ (複数台による監視)



M24M-Secure-HEMI (1台ですべてをカバー)

MOBOTIX JAPAN

〒231-0011 神奈川県横浜市中区太田町6-85 RK Cube 4F
Phone. 045-227-6174 Fax. 045-227-6286 cam-sales@mobotix.jp

www.mobotix-japan.net

mobotix

検索

SONY

make.believe

Create 960H World!

Effio™

Over 650TV-Line Camera DSP Series



NEW

WDR High-End Model

“Effio-P” (CXD4129GG)

- 760H/960H CCDイメージセンサに対応
- 水平解像度 650TV本以上(960H CCD使用時)
- ワイドダイナミックレンジ機能
- ATR-EX (Adaptive Tone Reproduction) 機能
- 2D&3Dノイズリダクション
- デジタルイメージスタビライザ機能
- 動き検出
- プライバシーマスク
- HLC (High Light Compensation)
- OSD
- スローシャッター(感度アップ)機能
- 電子ズーム
- DRAM&フラッシュメモリ内蔵
- MCU内蔵
- LFBGAパッケージ(12mm×12mm)



NEW

Multifunction Model

“Effio-S” (CXD4130GG)

- 760H/960H CCDイメージセンサに対応
- 水平解像度 650TV本以上(960H CCD使用時)
- ATR-EX (Adaptive Tone Reproduction) 機能
- 2D&3Dノイズリダクション
- デジタルイメージスタビライザ機能
- 動き検出
- プライバシーマスク
- HLC (High Light Compensation)
- OSD
- スローシャッター(感度アップ)機能
- 電子ズーム
- DRAM&フラッシュメモリ内蔵
- MCU内蔵
- LFBGAパッケージ(12mm×12mm)



Entry Model

“Effio-E” (CXD4127GG)

- 510H/760H/960H CCDイメージセンサに対応
- 水平解像度 650TV本以上(960H CCD使用時)
- ATR (Adaptive Tone Reproduction)機能
- 2Dノイズリダクション
- 動き検出
- プライバシーマスク
- HLC (High Light Compensation)
- プリセットOSD
- 低消費電力
- LFBGAパッケージ(8mm×8mm)



※ Effio 及び“Effio”はソニー(株)の商標です。 ※“ARM”は、ARM社の商標です。

ソニー株式会社

“Effio”オフィシャルウェブサイト: www.sony.net/Products/SC-HP/effiowld/index.html

TW9960

INTERSIL TECHWELL と共に SONY 960H VIDEOの世界へ

intersil[™]
Techwell[™]

**960H CCTVの時代は、
Intersil Techwell に
委ねられた....**

この新しい Analog Video Technology はより鮮明な画質・最高の色彩再生能力・更に進化したノイズ除去機能・より広いダイナミックレンジを実現致します。

Intersil Techwell による新しい 960Hビデオソリューションは、業界最高性能を御提供致します。



960H DVR



Sony
960H
Camera



960H Display

intersil[™] | SIMPLY SMARTER[™]

©2010 Intersil Americas Inc. All rights reserved.

▶ **LEARN MORE NOW**

INTERSIL.COM/TECHWELL

試練後に開花した セキュリティ

2008年末から始まった景気後退の影響は今も続いているが、その一つが、多くの業界で企業活動を左右する動きが見えてきたものの、依然として予測不能なことだ。セキュリティ業界も例外ではない。しかし、2010年に始まった回復基調の勢いは2011年も続く可能性が高く、新興市場と成熟市場の両方で絶好のビジネスチャンスが数多く見込まれる。

編集部

今 後市場がどのように成長していくのか。何が市場の焦点となるのか。各企業の予測は、その製品開発と製品範囲とともに、2009年の不安定な経済、財政状態に適応すべく大きな変化を遂げた。2010年、中南米や中東など、これまで未開発あるいはサービスが行き届いていなかった地域の市場に参入することにより新たなビジネスチャンスを見出し、業績を上げたメーカーもある。世界の大部分で景気回復が見られる現在、2011年のセキュリティ市場はどのような様相を呈するだろうか。

どのメーカーも、2011年の市場需要、景気見通し、事業計画に関して楽観視しているように思われる。IMSリサーチ社によれば、注目すべき上位3市場は、市街地監視、交通、公共事業であり、それぞれ2010年比15パーセント超の伸びを予測している。

さらに、既に多くのメーカーが、小売、教育、医療、金融の各市場におけるプロジェクトを予定している。ハネウェル社ビルディング・ソリューション事業部グローバルプロテクション担当副社長ピーター・コスタ氏は、「景気の不確実性の

ため、多くの分野で設備投資が鈍化したものの、経済的困難が原因で屋内外の窃盗などのリスクは増加しており、より効果的なセキュリティのニーズは拡大している」と語る。

市街地監視、交通、公共事業の業種において大規模にセキュリティソリューションを導入する場合、広範な敷地内、あるいは個々の支店やチェーン店に分散した複数ポイントでの導入が必要になることが多い。パコム・システムズ社ヨハン・レムブレCEOは、「金融、公共事業、管理サービスプロバイダなどは一般に複数の店舗や営業所を抱えており、他のサブシステムとの統合性が高い集中管理を必要としている」と語る。

多くのメーカーでは、政府機関、交通、公共市街地監視向けのプロジェクトを計画している。VIVOTEK社ブランドビジネス担当取締役ウィリアム・ク氏は、「2011年には交通など、より大規模なプロジェクトを予測している」と言う。フロスト&サリバン社が2010年下半期に発表した調査によると、EU加盟国では、テロ攻撃の脅威の高まりが大量輸送機関におけるセキュリティの導入を後押しする重要な要因となっており、大型インフ

ラプロジェクトや設備の交換需要における競争により、2010年から2013年にかけての市場拡大が予測されている。また、IMSリサーチ社の観測によれば、交通市場すなわち空港や港湾や鉄道における設備投資は、2011年中は高い水準を維持するものと思われる。

シュナイダー・エレクトロニクス・グループ企業ペルコ社グローバルマーケティング担当取締役ハーブ・ファグス氏は「どの国も金融危機の影響を受け、それがインフラへの資金投下に影響を与えた。しかし、政府機関や空港、港湾や交通などの大規模プロジェクトは、引き続き当社のターゲットだ」と語る。しかし、政府機関、公共インフラ部門の事業は、それぞれ独自のリスクがあり、気をつける必要がある。フロスト&サリバン社の調査によると、大量輸送機関向けに特化したセキュリティソリューションが不足している。ソリューションとして入手可能であっても調達過程が複雑なことが原因で、多くの企業にとって市場の潜在的可能性が妨げられている可能性がある。さらに、考慮すべき第3の要素は、厳格なセキュリティ規則の維持と乗客の満足度の達成のバランスである。同様

に、シスコ・システムズ社の最近の売上および収益予測によれば、政府機関の設備支出は切り詰められており、成長を政府関連部門に依存している企業はリスクを負うことになる。また、成熟市場にビジネスチャンスを求めている企業にとっては、このことは大きな関心事となるだろう。

Hikvision社やミラシス社など多くのメーカーは、新興市場におけるスポーツスタジアム、ホテル、レジューセンタなどの大型リクリエーション施設にも注力すると思われる。

地域市場

2011年、世界各地で、新興市場でも成熟市場でも、より多くのビジネスチャンスが見込まれている。「北中南米の時流として、米国では依然として市街地監視に資金が投下されている。また、ブラジルで2大スポーツイベントが予定されているため、多くの中南米諸国では、犯罪防止や犯罪の減少を目的とした市街地監視への投資が今後も続く」とIMSリサーチ社映像監視&VCA担当上級リサーチアナリストのガリ・ワング氏は言う。「アジアでは、中国の“安全都市”計画において、第3、第4レベルの他の都市への新規設備投資が続き、一部の業種・市場での既存設備の更新が行われ、成長を後押しする重要な要素になると思われる。一方、欧州、中東、アフリカでは、東欧における大規模な“安全都市”への設備投資と設備更新が成長を後押しするだろう」(ワング氏)。

「新興市場における成長の潜在的可能性と需要水準は政府の原動力を反映しており、特に成熟市場と比較して、運用コストはかなり低く抑えられている」とHikvision社国際マーケティング担当取

締役トニー・ヤン氏は語る。しかし、その他のコスト、例えば最終完成電子製品に課せられる輸入税や、地域サービスセンターの設置コストなども考慮に入れる必要がある。さらに、多くの新興市場では、顧客はコスト効率の高い製品を好み、入札に勝って受注を獲得するには価格だけで競争せざるを得ないメーカーもある。

中南米、アジア太平洋地域、中東など景気後退の影響が比較的小さかった新興市場においては、メーカー各社が様々なプロジェクトを受注しているが、多くのメーカーが、北米および欧州の景気は景気後退前の水準に戻るだろうと考えている。「米国市場の回復は遅れたものの、新興市場でのビジネスを追求する一方で、米国での市場シェアを失わないように努めている」(ファゲス氏)

一部のソリューションプロバイダにとって、日本やドイツなどの成熟市場では、ハイエンド製品が受け入れられている。AVTech社マーケティング・マネージャのアンディ・リ氏は「日本とドイツでは、高度な技術要件と製品基準が要求される。両国でハイエンド製品を発売し受け入れてもらえれば、当社の製品の品質と信頼性が証明されることになる」と言う。また、成熟市場において企業の力とブランド力を強化することは、既存市場に食い込むためのアプローチとなる。

中国とASEAN自由貿易圏

多くの企業が、2011年にもっと大きな成長が見込まれる地域は中国であると予測している。「中国の都市化は、今後20年間、急速に進むと見込まれる。その結果、多くの市場が生まれるだろう」とシンガポール・テクノロジー・エンジニアリングのグループ企業、STエレクトロニク

ス社中国事業担当副社長エンハン・ゴウ氏は言う。例えば、政府機関や交通、インテリジェントビルや住宅管理ソリューション、商業や住宅などの市場が挙げられる。また、無数の大規模インフラ事業計画が完成に近づいており、セキュリティと安全性を含め、これまでにない多量の低電圧システムが必要になる。

海外のシステムインテグレーター(SIer)にとっては、中国のセキュリティ市場には成長の余地が残されている。「海外のSIerは、バリューチェーンに即して新たな価値を提案し、創造的で革新的なソリューションと独自の機能を提供することが必要であることに気がつくだろう」(ゴウ氏)

市場を理解するには、SIは紆余曲折しつつも慎重に進む必要がある。アデムコ社極東セールス&マーケティング担当取締役パトリック・リム氏は「十分な資源と人間関係そして状況を打開する強い決意がないなら、中国市場へのアプローチにはいっそう慎重になるべきだ。まず企業風土と物の考え方を理解しないと、中国市場での事業展開は難しい」と語る。

顧客に近づくもう一つの方法は、サービスセンタを設けて管理型サービスを提供することだ。「優れた技術を競争力ある価格で、さらには効率、品質、生産性、持続可能性の改善を支援するソフトウェアツールと管理システムを提供できる企業は、都市化の過程で中国の市場に浸透



することができる」とゴウ氏は言う。中国の第12次5カ年計画では、グリーンエネルギーやバイオ技術といったハイテク産業こそが、リソース配分という意味で成功への道を進むことになるだろう。

中国とASEAN諸国間の自由貿易協定(FTA)の成立に伴い、多くのメーカーは、FTA政策が中国とASEAN諸国のビジネスにどのような好結果をもたらすか、事態を見守ってきた。この新しい貿易同盟を前向きに捉え、この新しい基盤が地域内の販売活動を促進するという意見もある。ダリ・テクノロジー社海外マーケティング担当取締役ブルース・ウ氏は「現在、中国のメーカーはASEAN市場へ参入しやすくなっており、関税が低く、貿易手続きも改善されているという理由から、中国製品は各地域の販売会社にとって、より魅力的な存在となる」と言う。関税障壁を引き下げるため、中国で倉庫設営に関心を持つ企業が増える可能性もある」とク氏は付け加える。

ファガス氏は、FTAが中国国内の製造および物流施設を拠点とする国際ソリューションプロバイダのASEAN諸国向け製品の販売促進をコストと運用効率の両面で支援することになると考えている。

要求の両極化

2010年のもう1つの注目に値する現象は、コスト効率に優れ、しかも高品質なソリューションの登場である。これまでハイエンド製品しか提供していなかったアクシス社、ボッシュ社、ハネウェル社、パナソニック、ソニー、ペルコ社といった各業界を代表する有力企業が低価格製品を発売し始めている。同時に、成熟市場で求められる複雑な仕様を満足するハイエンドの個別注文ソリューションの研究開発に注力するアジア地域のメーカーがますます増えている。では、従来型の中級市場は一体どうなったのだろうか。「メーカーと設置施工業者の成功の鍵がハイエンドかローエンドかの違いであってはならない」とHoneywell Securityの欧州・中東・アフリカ担当副社長兼ゼネラルマネージャのジョニー・アリア氏と言う。「現段階での各社固有のセキュリティに関する条件と財政投資へのエンドユーザの期待を満足する革新的な製品、または拡大多様化するビジネスに対応する柔軟で拡張可能な製品を提供できるか。それが問題だ」。

2011年、中級製品は従来ほど多くは提供されないという予測も多数ある。「中級製品は、ドイツを除く欧州と北米

に市場があるかもしれないが、この市場は明らかに両極化されつつある」とリ氏は言う。中級製品の数量の減少は憂慮すべき事実だ。

「現在市場は、技術革新と高機能が中心のハイエンドグループか、顧客が購入を決定する際に価格が決め手となるコスト効率重視グループのいずれか一方に移り変わっていく傾向にある」と、オリヴィイ社CEOクレイグ・スコット氏は語る。「もちろん、中期的には中級クラス市場の発展の余地はあるが、セキュリティ業界がたどってきた道のりを考えると、これは難題と言える」。

一方、革新的な機能を備え、長く高品質を維持できるハイエンド製品のみを提供し続けようとする企業もある。「コスト効率に優れた製品は先進の機能を備えていないことが多く、時の経過とともに厳しさを増すユーザの要求に応えられないことを実感するユーザ数は増え続けている」と、ミラシス社常務取締役イアン・キャメロン氏は言う。「長い目で見ればハイエンド製品の方が全体としての性能が優れているため、こうしたハイエンド製品の数は増えていくだろう」。

ハイエンドとローエンドに二分化するのではなく、独自システムとオープンシステムの競争がますます激化するとの予測もある。ネクスト・レベル・セキュリティ・システムズ社事業開発担当副社長ジャンビ・エデュルベラム氏は「現在のエンドユーザは、メーカーがこれまで提供してきた独自仕様に縛られないオープンなソリューションを求めている。エンドユーザは、従来別々に存在したサブシステムを統合してセキュリティの向上、リスクの軽減、状況のより正確な把握を実現する、オープンでネットワーク化されたソリューションを求めている」と語



る。業界標準に準拠したオープンシステムは、現場における相互運用性と長期にわたる投資保護を実現すると考えられている。

HDへの要求の高まり

2011年、ベンダ各社は、現在の景気回復基調を受けて、アナログ機器またはネットワーク対応機器を使用して完成しなければならないプロジェクトがまだ多く残されているとの見方で一致している。

IMSリサーチ社は、2011年の全世界のビデオ監視機器市場は前年比10パーセント以上の伸びと予測している。ネットワーク対応機器の採用が増えていることから、アナログ監視機器の伸びは1桁台にまで鈍化し、ネットワークビデオ機器の売上は前年比20~30パーセントの伸びと予測している。PSIAやONVIFといった組織が行っている教育活動に加えて、オープンで遠隔管理可能なプラットフォームが好まれるようになったことが、ネットワークビデオの成長を後押しする要因として挙げられる。

HD CCTV技術も注目されつつある。2011年後半には市場において確たる地位を築き、技術面での差異化が進むと見込まれている。「中国と台湾と韓国の世界最大級のOEM/ODMメーカーでは現在、HD CCTVカメラとDVRが2011年第1四半期のロードマップに組み込まれている」とスコット氏は言う。

ネットワークカメラは教育、医療、大型インフラ市場で今後も広く使用され続け、HD CCTVカメラは小売、金融分野で中ないし大市場を形成し、アナログ製品は公衆向けサービスの小規模プロジェクトで引き続き使用されていくと一部のメーカーは予測している。2011年に主流

になるのは、アナログ、HD CCTV、ハイブリッド型、IP利用型の別を問わずHDとあらゆるメーカーが予測している。HD技術は2010年に一般に導入され、その後認知され、受け入れられたことから、2011年にはさらなる発展と採用への道が開けた。IP利用型製品のメーカーの大部分が、エンドユーザの明瞭なビデオ画像に対する要求の増大に応えるため、HD技術に基づく新製品ラインをすでに開発している。「技術の見地から言えば、ネットワークビデオはすでに過去となった革命であり、すでに市場にも出回っている。現在、我々は、より多くのHDインフラを市場に送り込もうとしており、次のチャレンジに向け既に準備が整っている」とファガス氏は言う。

新たな機会

2009年から2010年にかけて、洗練されたVCA、SaaS (software as a service)、MVaaS (managed video as a service) など、様々な新しいアプリケーションが市場に導入された。しかし、この1年間、これら新機能の製品への採用はあまり進まなかった。景気後退がその理由の一つであるという意見もある。「新しいアプリケーションは、これまでのところ性能と実際の機能に開きがあり、日常業務に使用されるまでに成熟するには時間が必要だ」とスコット氏は言う。この期待と現実の隔たりは、ソリューションプロバイダにとって、これらの新技術をさらに進展させる上での主要な障害となっている。

しかし、こうした新技術の発展と成熟により多くの投資がなされるとの見方もあり、2011年には、これらの新技術ももっと受け入れられるようになると思われる。「SaaSとMVaaSの可能性は、プ

ラットフォームの優位性からして、今後高まっていくはずだ」と、サーティス・シスコ セキュリティ社サーティス・テクノロジー インタナショナル担当副社長ダニエル・オング氏は語り、「低コスト、迅速な配備、配備効率の良さ、手間のかからないサポート、小型化などが優位性として挙げられる」と続ける。セキュリティの影響、帯域幅のコスト、保守費用全般をエンドユーザが監視するようになるため、関連サービスを積極的に売り込むにはITに精通したSierの力が必要である。「時間の経過とともに、SaaSもMVaaSも機能、特性面で成熟し、顧客にとってより魅力的な選択肢に成長していくだろう」と、オング氏は言う。

その他のメーカーにとっては、ゲームは既に始まっている。「当社の協力各社は、入退管理の運営手段を提供し、収益を生み出す基盤としてSaaSを利用している」とレムブレ氏は語る。

新たな高まりへの発展

景気後退の暗雲が去った現在、ソリューションプロバイダは、2011年に大いに期待している。これまで中断していた大型プロジェクトが再開し、あらゆる規模のプロジェクトが開始または完了されることになるだろう。製品だけでなく、特化された機能、顧客サービス、サポートセンタの必要性が増大している。エンドユーザとのやり取りを通じて、ニーズをより良く把握することにより、さらに優れた「破壊的技術革新」を推進し、立ち上げることができる。市場と業界に乱気流が発生し、急速な調整が行われたにもかかわらず、2011年は産業従事者全員にとってまたとない成長と発展の年になろうとしている。

ANS

2011年は 新たな高まりと発展

好調の兆しを見せ始めた2010年が終わり、2011年は楽観論が高まりを見せている。A&S国際版では、リサーチアナリストやメーカーそして販売会社を対象に、今年の見通しについて調査を行った。

編集部

金 融危機は物質的な安定を脅かし、不適応な者を排除した。「景気後退に耐え抜いた」業界は自らを厳しく見つめ、より強力な存在として浮上した。メーカー各社は、ソリューションがもたらす付加価値を顧客に改めて説明し、打ち勝つために製品仕様に価値を与えなければならなかった。

合併は2011年も続くと思われる。しかし、「2011年、吸収や買収は過去最高の数に達すると思われるが、合併の伸びは鈍るだろう」と、メモリー社取締役アラン・マケイル氏は言う。「ハネウエル・セキュリティ、シュナイダー・エレクトロニクス、シーメンス・ビル・テクノロジー、ジョンソン・コントロールズ、ボッシュ・セキュリティ・システムズ、UTCファイヤ&セイフティをはじめとする大部分の大手セキュリティ企業は、2010年には契約には至らなかったが、2011年になれば誘惑に勝てる見込みはまずないと思われる。大手企業各社が豊富な手元資金を有し、ベンチャーキャピタルが投資を望んでいるという事実と相俟って、IT企業への統合が今後も強力な推進力となると思われる」と続ける。

オープンスタンダード

オープンスタンダードは、最善のソリューションの選択肢を顧客に提供し、メーカーは、サードパーティ製品を個別に統合する手間から解放される。オープンスタンダードの価値については、2011年も強力に示されると思われる。「ONVIFもPSIAも、装置ベンダのサポートを得るといふ点では大いに進展を見たものの、ネットワークビデオ監視業界ではオープンスタンダードがまだあまり取り沙汰されておらず、オープンスタンダードが映像監視市場ににわかに影響を及ぼす可能性はまずない」とIMSリサーチ社映像監視&VCA担当上級リサーチアナリストのグレイ・ワング氏は言う。「それでも、最終的にオープンスタンダードが採用されれば、ビデオ監視装置のベンダ各社は、ますます競合他社との差別化に重点を置かなければならなくなるだろう」。

参加企業数ではONVIFの方が多く、会員数は220社を超え、準拠製品は11月現在で389にのぼる。PSIAの方が歴史は長いですが、対応製品数は63とONVIFの数の1に過ぎない。「PSIAは、映像監視、入退管理、映像分析、映像管理ソフトウェアとプラットフォーム、ストレージ機

器など、あらゆる技術分野を対象としたIP標準の作成に焦点を合わせているという点で傑出している」とPSIAのエグゼクティブディレクターのデビッド・ブンゼル氏は語る。PSIAは、2010年9月に映像分析仕様を、数ヵ月後には入退管理仕様を公開した。「これで、システム構築者は複雑なインストール作業が楽になり、エンドユーザは、セキュリティ要求を満たす最善のソリューションを選ぶことができる」(ブンゼル氏)



映像監視は2011年では高度処理化と相互運用性の板挟みが進む。

既にベンダ数社が両標準に適合したソリューションを開発している。ネクスト・レベル・セキュリティ・システムズ社事業開発担当副社長ジュンビ・エデュルベラム氏は、「当社はオープンスタンダードを信じている。当社の製品は、ONVIFとPSIAの両セキュリティシステムに対応している」と言う。

Hikvision社もこの両団体の標準に適合するソリューションを提供しているベンダである。「現在、ONVIFとPSIAの両標準に対応した製品の要望が多数ある」と同社国際マーケティング担当ディレクターのトニー・ヤン氏は言う。また「アナログ技術とIP技術の両方を備えたハイブリッド製品の需要もある」と付け加える。

ハネウエル社は、独自の技術公開連合体を有し、PSIAとONVIFに関するサードパーティの協力とサポートも強化されつつある。「当社は両組織に参加しており、当社の全システムすなわちNVRとDVRを両標準に対応させ、カメラなどの末端装置をどちらかの標準に対応させる予定だ」と同社欧州・中東・アフリカ担当副社長兼ゼネラルマネジャのジョニー・アリア氏は語る。

オープンスタンダードの採用は各社それぞれであり、正しい標準を採用すべく、様子見の姿勢をとっているベンダもある。「標準がアップデートされれば、統合はさらに容易になる」とシュナイダー・エレクトロニクス・グループのPelco社グローバルマーケティング担当取締役ハーブ・ファゲス氏は言う。「当社は様々な標準に注目している。顧客は、より優れた、より容易な統合を望んでいる」。

HDCCTVという映像連合体も登場した。「2011年は、HDCCTV機器が年間を

通じて販売される最初の年になる。それでも、IMS リサーチ社では、HDCCTV機器の採用は緩やかにしか進まないと予測している」とワング氏は言う。「SDからHDへの移行に伴うカメラの初期費用の上昇はわずかだと思われるが、HDCCTV対応DVRの価格は、SDに比べてスケールメリットが実現されるまでは大幅に高くなると予想される」。

IP対応製品の販売量は2013から2014年までにはピークに達すると見込まれていることから、HDCCTVがいつまで使用されるかは疑問である。「HDCCTVは、特殊なアナログCCTVの間隙市場だ。当社は、この取り組みを支援するつもりはない。IPとの融合システムによって実現されるコスト低減の恩恵をこれ幸いと十分に受けているからだ」とエデュルベラム氏は言う。ネクスト・レベル・セキュリティ・システムズ社では、小規模施設向けのコスト効率に優れた製品と企業向けシステムの開発に取り組んでいる。

HDCCTVは市場で地位を獲得できると考えているメーカーもある。「IMS リサーチ

社の調査報告書などで見られる市場予測に反して、今後数年間はアナログ製品が引き続き市場を支配し続けるものと考えている」とOVii社クレイグ・スコットCEOは言う。

統合化

金融引き締め政策により顧客の財布の紐は固くなり、ソリューションプロバイダには、ますます多様な製品を揃えなければならないという重圧がかかった。Nedapをはじめとする従来からの入退管理をベースとするメーカーでさえも、制御管理ソリューションに映像管理ソフトウェア(VMS)を追加搭載した。

シュナイダー・エレクトリック社では、米国政府のネットワークで使用されるIP対応製品を標準に準拠させるべく、関連部門を分社した。Pelco社は強力なハードウェアを揃えているが、ネットワーク化と統合はまだこれからだ。「アナログからIPへという最初の変化が進行中だ」とファゲス氏は言う。「次のステップはHD。さらに次のステップは、クラ



生体認証は検知技術と接合することになる。

ウドコンピューティング、クラウド録画、クラウド管理だ。こうした流れがこの業界を変えることになるだろう」。

VMSについては、映像システムだけの管理からの脱却が期待される。「2011年、ベンダ各社がより個別市場に重点を置く。つまり、業種別のソリューションの創出に力を入れるものと予想する」とワング氏は言う。「オープンプラットフォームを採用したVMSベンダにとっては、あらゆる種類のネットワーク映像装置間の相互運用性を実現するのはまだ先のことになると思われるが、2011年にVMSベンダ各社はより革新的なソリューションの開発に力を入れ始めるはずだ」。

ソリューションは今後の活路である。「2011年、当社は斬新な商品を投入し製品ラインを拡張し続けていく」とボッシュ・セキュリティ・システムズ社北中南米マーケティング担当副社長ダニエル・グンドラツヒ氏は語る。「HD映像の

フルソリューションと、侵入や火災や入退管理用制御盤を強化する新製品が登場することになる」。

MVaaS (managed video as a service) は、代替ビジネスモデルとして既に登場しており、新規参入企業から販売会社そしてISPまで、あらゆる企業がこの分野に注目している。2011年には、さらに多くの製品が登場すると思われる。

実用本位の映像

トップクラスのビデオメーカは、基本的な監視ニーズに応える低価格カメラを市場に投入している。ソニーは、今年になってから廉価版HD製品を発表したが、レンズの選択肢が限られており、赤外線は搭載されていない。これは、より多くの機能を搭載するのではなく、汎用アプリケーション向けのより実用的なソリューションを提供するという方向転換である。

「ユーザフレンドリなセキュリティシ

ステム、すなわち、簡単な設定、シンプルな構成、使いやすいシステムへの要求が高まっている」とサーティス・システムズ・セキュリティ社サーティス・テクノロジー・インタナショナル担当副社長デビッド・オング氏は言う。「セキュリティとシステムとしての完全性を損なうことなく、使い勝手の良さを実現するのが課題だ。IP対応システム、末端デバイス類

の普及が進み、監視カメラとDVRと入退管理が、“プラグアンドプレイ”製品として提供され、最低限の設定と構成で使用できることを顧客は期待している」。

ネットワーク映像ストリームを自動構成する、設定の容易なソリューションも存在する。「当社の製品開発ロードマップに対応して、業界初のメディアネットワーク対応ネットワークカメラを発表した。メディアネットワーク対応イーサネット・スイッチポートを備え、簡単なプラグアンドプレイ設定を実現した製品だ」とシスコシステムズ社マーケティングマネージャのリンザイ・ヒーベルト氏は語る。

地域によって嗜好が異なることも考慮に入れる必要がある。「地域市場に対応した製品を設計する必要があることを認識した」とタイコ・セキュリティ・プロダクツ社マーク・ヴァンドベル社長は言う。

ストレージ

ネットワークとストレージそして圧縮の最先端技術が、ネットワークストレージ市場の成長を後押ししている。フロスト&サリバン社の北米のセキュリティネットワークストレージ市場に関する報告書によると、「設置場所あたりの映像チャンネル数が増加しカメラの解像度が向上したことが、映像監視アプリケーションのデータ量が増大した主な理由」としている。

新たな企業監視プロジェクト、特にIPストレージ分野のネットワークにおいては、ネットワークストレージが最も重要な位置を占める。IMSリサーチ社の報告書「映像監視で使用される企業向けストレージおよびIPストレージの世界市場」では、2013年の全世界の映像監視ストレージの売上高の30%以上をネットワー



Memoori社
アラン・マケイル氏



PSIA
デビッド・ブンゼル氏



ハネウエル社
ジョニー・アリア氏



BOSCH社
ダニエル・グンドラツヒ氏

クストレージが占め、56億ドルを超える
と予測している。

ストレージとクラウドに関する選択
肢の増加は、エンドユーザに恩恵をも
たらす。「標準的なサーバの普及によっ
て、より大容量のストレージとより高速
なコンピューティングリソースが、ハー
ドウェアとしてユーザに提供される」と
Pivot3創業者兼最高管理責任者(CMO)
リー・カスウェル氏は言う。「このよ
うな製品群が市場に登場次第、当社は顧客
に対してより改善された製品を提供して
いく」。

構成部品

半導体はセキュリティデバイスの心
臓部を構成するもので、物理的なセキュ
リティが部品供給会社の金鉱となる可
能性を秘めている。In-Stat社は、アナロ
グカメラやネットワークカメラ、DVRや
NVR、エンコーダなどから得られる収益
は、2011年には190億ドルに達すると
予測している。一方、監視カメラ向けイ
メージセンサの売上高は、2008年の7億
ドルから、2013年には4億3,500万ドル
にまで落ち込むと考えられる。

IDCによると、2011年の民生用アプ
リケーションを含めた全半導体の売上高
は8~9%の伸びと予測されている。こ
の上昇には、インテル社による中国のIP
ビデオプロバイダNetPosaへの投資が反
映されている。同社のONVIF準拠NVRと
サーバは、Intelのアーキテクチャとソフ
トウェアをベースとしている。

ネットワークカメラ・メーカーは、内
製することはほとんどないセンサやプロ
セッサが必要となるため、半導体の供給
状況には敏感である。「当社はこれから
も製品品質を高め、市場シェアの拡大を
図っていく」とVIVOTEK社ブランドビジ

ネス担当取締役ウィリアム・ク氏は言
う。「その結果、構成部品の購買交渉力
を強化する」。

アクセスコントロール (入退管理)

入退管理は今後伸びていく分野であ
る。RNCOSによると、全世界のスマート
カード出荷台数は2013年までには11%
増え、85億枚に達する見込みである。欧
州では交通分野での伸びが、米国政府関
連では産業市場でのカード普及が見込ま
れている。

入退管理分野では、オープンスタン
ダードは歓迎すべき存在である。これに
より、様々な国に分散した大量のクライ
アントのアクセス権などを集中管理する
ことができる。また、複数のクライアント
ではなく、単一のプラットフォームを
使用することも可能である。「当社は複
数の場所からのアクセスの管理のスペ
シャリストであり、このコアコンピータ
ンスを強化し、サードパーティのシステ
ムをサポートすることを計画している」
とパコム・システムズCEOヨハン・レム
ブレ氏は語る。「これは、当社がONVIF
の入退管理のイニシアティブ設立時か
らの参加メンバーである理由の1つであ
る」。

生体認証は、感知の新技术の恩恵を受
けている。「センシング技術の発展はす
ばらしいが、最終的
には競合製品と等し
いか、低い総保有コ
ストでより優れた性
能を実現する必要が
ある」とハネウェル・
ビルディング・ソ
リューション社ロー
バルプロテクション

部門担当副社長ピーター・コスタ氏は言
う。

侵入と自動化

IMSリサーチ社によれば、2011年に
は警報システムの需要増大が見込まれ、
2009年の29億ドル(推定値)を超える予
想されている。また、ABIリサーチ社に
よると、ホームオートメーションも伸び
が期待され、システムの出荷数は約280
万ドルと予想されている。

侵入検知ソリューションのプロバイダ
は新技术を次々と発表している。「様々
な市場のニーズ、とりわけ顧客のニーズ
に応えるパネルや検出器、アクセサリや
ソリューションの品揃えを大幅に拡張す
ることを計画している」とVisonic社マー
ケティング担当副社長ライラ・アラドラ
ラン氏は言う。「当社の低価格製品は、
搭載機能を減らし、廉価な構成部品を増
やしたことで、信頼性をより高めてい
る」。

イスラエルの侵入検知装置プロバイダ
のリスク社は、入退出管理企業や映像監
視企業を戦略的に買収することで、製品
の品揃えを拡張してきた。同社は欧州の
一部で遠隔監視機能を提供しており、売
上高だけでなく収益も増やしている。

自国のセキュリティ

2001年9月11日の同時多発テロは、



サーティス・シスコ・セキュリティ社
ダニエル・オング氏



シスコシステムズ社
リンザイ・ヒーベルト氏

セキュリティに対して、消し去ることのできない影響をもたらした。テロ行為は代表的な脅威となった。以来、高層ビルに飛行機が激突するといった事態は発生していないが、犯罪者が工夫を凝らしてテロ行為に走らないように、これからも阻止しなければならない。最新例が、プリンタのカートリッジ型の爆弾を輸送機に乗せ、遠隔起爆しようとした11月のテロ未遂事件である。2011年末までに米国貨物の検査が必須になることから、こうした需要に対応すべく、多くの機器が必要とされている。

生産

先の景気後退ではコスト削減の施策が求められ、生産拠点を移転した企業もあった。大部分のメーカーはそうした移転を行っていないが、一方で各地への店舗配備には積極的に取り組んでいる。「中国では人件費が上昇しているが、今のところ別の場所に工場を移転させる計画はな

い。ただし、今後その可能性が一切ないというわけではない」とヤン氏は言う。

こうした引き締め政策には、使用頻度の低い機能の除去によるコスト削減などが含まれる。「移転計画などまったくない」とダリ・テクノロジー社海外マーケティング担当取締役ブルース・ウ氏は語る。中国での生産の優位性と柔軟性は依然として不動である。

その他のベンダではアウトソーシングの計画はない。「当社の製品は台湾で生産している。台湾の人件費は中国より高い」とク氏は言う。「しかし、2011年中に台湾以外の場所に工場を移転する計画はない」。同社では、管理部門スタッフが効率良くコストを管理している。「台湾での工場設営コストは、一部の人たちが考えるほど高額にはならない可能性がある。すべては、人材をうまく管理し、潜在能力をいかに最大限に発揮させるかにかかっている」とスコット氏は言う。

また、自動化によってコスト削減と品質向上を図ることもできる。「人件費の上昇に対応する方法として、生産現場の自動化を積極的に進めている」とアラドアラン氏と言う。

顧客により近いところで生産できるのが現地生産のメリットである。「人件費は低いものの、品質管理と重要な顧客への迅速対応の必要性から、米国での製品開発を現状のまま維持しなければならない」とキャスウェル氏

言う。

優れたパートナーが見つければ、コスト削減にもつながる。「価格競争力を維持するため、周辺機器のOEMを検討している。製品が既に認証されており、当社が事業展開している国で使用できる場合は特にそうだ」とレムブレ氏と言う。

販路の開拓

今年もメーカー各社は、エンドユーザへの直販ではなく、販路を持つ販売代理店に依存することになると考えられる。「当社は“直販、間接”方式に従っている。つまり、当社の製品はすべて販売代理店経由で販売しているが、SIerやエンドユーザと直接的な販売関係も結ぶ」とエデュルベラム氏は語る。「その結果、当社の販売代理店の効率をうまく活用することで製品価格を低く抑えることができ、同時に販売および販売支援に関して、エンドユーザやSIerと深い関係を維持することができる」。

また、パコム社は、VAR(付加価値再販)業者を通じて販売を行う一方で、エンドユーザ、SIerとのネットワークを維持している。「メーカーである当社にとって、エンドユーザとの接触は彼らが抱えている問題を把握し、問題を解決可能な斬新でコスト効率に優れた方法を考え出す上で、極めて重要である」とレムブレ氏と言う。

「エンドユーザへの直販は効果的である一方、大きな人手がかかる。VIVOTEK社は、販売代理店とSIerの販路を通じた活動を今後も維持していく」とク氏は言う。同社は販路拡大計画として、ソリューションパートナー経由販売も計画している。

チャンネルパートナーは、エンドユーザの要望に迅速に応えることができる。「ソ



タイコ社社長
マーク・ヴァンドベル氏



PIVOT3社
リー・カスウェル氏



VISONIC社
ライラ・アラドアラン氏



ダリ・テクノロジー社
ブルース・ウ氏

リレーションパートナー、チャンネルパートナーの教育は、当社の製品を使用する上でエンドユーザ側の準備と教育を万全にするため、常に徹底して実施している」とMirasys社常務取締役イアイン・キャメロン氏は語る。

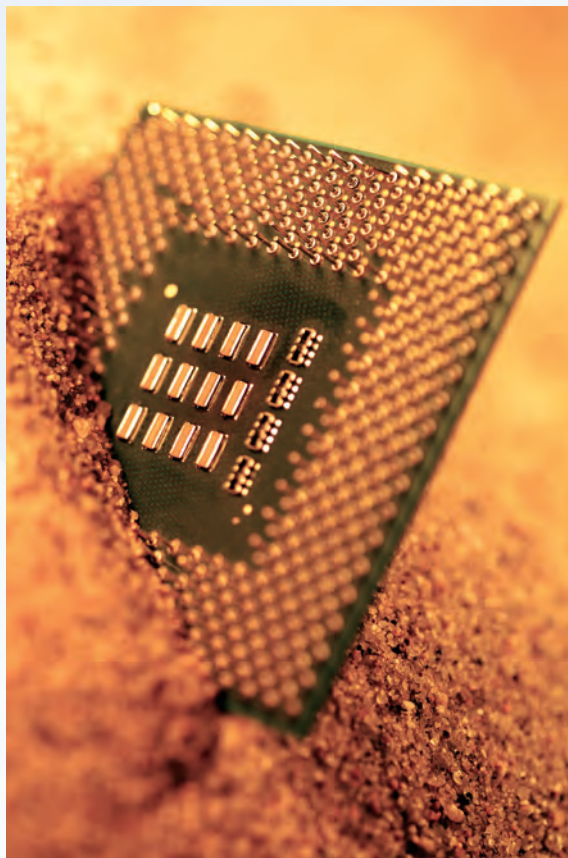
戦略的パートナーシップは、特定業種のセグメントでは有効な市場参入戦略となる。「ホームセキュリティを自社の製品やサービスに結び付けることに関心が高い通信事業者や公益事業会社をターゲットとして、販路開発を広げていく」アラドアラン氏は言う。

販売代理店ブランド

販売代理店やSlerは、利幅も販売量も落ちていることから、2011年には、独自に取り扱う製品の数を増やしていくと考えられる。その一例が、11月にオプテルコム-NKFを買収したオランダのSler、TKHグループである。「販売代理店が独自ブランドを市場投入するというのは決して稀な現象ではなく、Hikvision社は、これを競争激化の驚異をはらんだ動きとは見ていない」とヤン氏は言う。「当社としては、揺れ動いている販売代理店と協力して市場における足場を確保し、ともにビジネスチャンスを掴む方法を探求していく。販売代理店が当社にOEMの発注をしてきたとしても、喜んで共同作業を進めるつもりだ」。

他のメーカーも、販売代理店ブランドがメーカーの事業を傷つけるとは考えていないようだ。「国際的な販売代理店を求めて、OEM販売に重点を置く」とウ氏は言う。

販売代理店ブランドは、販売代理店が販売する製品と常に競合するとは限らな



い。「北欧諸国で事業を展開するハネウエル社の子会社で、独自ブランド製品を持つADI グローバル・ディストリビューション社と提携しているが、市場シェアを維持している」とキャメロン氏は言う。「機能、ソフトウェアの能力や拡張性、インタフェース・アプリケーションという点で製品がユニークである限り、市場競争は恐れるに足りない」。

マーケティングと教育

市場の回復に伴い、メーカー各社は、戦略的顧客に働きかけるべく準備を進めている。「設置業者と中央監視ステーションが当社のエンドユーザだ」とアラドアラン氏は言う。「ほとんどの場合、これらのエンドユーザはどのセキュリティシステムを住宅に設置するかを決める意思決定者でもある」。

Visonic社は、設置業者を対象として、イベントや専用ツール、ウェビナー（オンラインセミナー）やドキュメントなどを利用して販売、販促を行う。「近々使用を開始するもう一つのメディアはソーシャルメディアであり、顧客との会話やアイデア、見解や情報のやり取りを行うための優れたツールとなる」とアラドアラン氏は語る。

PSIAは、コンサルタントやエンドユーザそしてSlerとの関係に重点を置くことになる。「2011年、集中型の教育ツールを特定地域で、オンラインで提供する」とブンゼル氏は言う。「今後も戦略的な教育活動を通じて、当社の取り組みについてもっと情報提供していく」。

VMSはますます必要不可欠な存在になりつつあるが、エンドユーザや販売業者向けの研修が必要になる。「市場がアナログからIPへと移行しつつある現在、とくに教育に重点を置いている」とエデュルベラム氏は言う。「新しいメディアツールを使用して、教育すなわちWebベースのトレーニングを行っていく。また、フェイスブック、リンケディン、ツイッターを利用したネットワークも強化していく」。

基本に戻れば、メーカーやソリューションプロバイダにとって、顧客のニーズを2011年の最優先事項にするには、対話が不可欠である。「技術面の機能を完全にすることに重点を置くのはすばらしいことかもしれないが、エンドユーザのニーズにはマッチしないかもしれない」とスコット氏は言う。「人々が買いたいと思うものを作るべきだ」。



ネットワークを使用しないもう1つのHD監視ソリューション： 従来の同軸ケーブルを利用 したHD画質の伝送と記録

HDCCTVとは？

TCP/IP等のネットワークを使用せず、従来の同軸ケーブルを使用してフルハイビジョン映像を転送する防犯ソリューションです。

カメラ側・レコーダ側ともにHD-SDI端子を搭載、これまで使用していた同軸ケーブルを活用できます。

ネットワークカメラでは、設定を複数の装置(ネットワークカメラ本体・ルータ・NVR)で行う等の必要があります。また、設置時にネットワークの知識が必要となります。

HDCCTVでは従来のアナログカメラ同様に同軸ケーブル・電源ケーブルの接続のみで、設置は完了です。

HDCCTVはこれまでの施工方法を踏

襲できます。

アナログCCTVとおなじ感覚で

設置方法同様にレコーダ・カメラの設定も、従来のアナログCCTV同様に行うことができます。

ParagonHDレコーダのメニュー画面・設定項目は弊社のレコーダのものを踏襲。これまでと同じ感覚でHD防犯ソリューションの構築・設置・設定が行えます。

また、ネットワーク通信に関する設定をカメラ側で行う必要はありません。ネットワーク経由で遠隔モニタリング・制御をする場合も、これまで同様に、レコーダ側のネットワーク設定を行うだけです。

HDCCTVカメラ第1弾・ EQH5200

EQH5200は弊社HDCCTVシリーズ初のカメラです。2メガピクセル・CMOSセンサー搭載、フルハイビジョン(約207万画素)のほか720pの解像度にも対応。設置が容易に行えるよう、HD-SDI端子のほかにテストモニタ用RCA端子を搭載しました。RCA端子はアナログ出力ですので、これまでご利用いただいたテストモニタをそのままご利用いただけます。

HDCCTVレコーダ・ParagonHD

ParagonHDは8台のHDCCTVカメラを接続できるレコーダです。解像度1080iでは各カメラ最大15fps、720pでは最



Paragon HD DVR



EQH5200



EDH5240



EHH5200

大30fpsでの録画が可能です。メニュー画面・レイアウトは弊社ECOR264シリーズと共通。マウス操作で直感的に操作できるメニュー画面を採用しています。

本体内にウェブサーバ機能を搭載、モニタリングのほか、各種設定・再生・録画データコピーを行うことができます。操作は原則マウスのみで行い、ログアウトはブラウザを閉じるだけです。

遠隔制御はブラウザInternet Explorerからのネットワーク接続でOK。専用ソフトのインストールは不要です。また、アクセス時には必ずユーザー名・パスワード入力が必要。

レコーダに一定の制限をかけることが可能です。また、遠隔アクセス時にはユーザー名・パスワード入力が必要。セキュリティ面でのレコーダに録

画された映像・ライブ映像への不正アクセスを防止できます。

スマートフォン・MAC OS等、Internet Explorerを搭載しない端末・PCからもライブ映像をモニタリングできます。

オプション機器

HDCCTVシリーズではカメラ・レコーダのほか、オプション機器も用意しております。HD-SDIをHDMI端子に変換するコンバータ、HD-SDIリピータ、HD-SDI端子を光ファイバケーブルに変換するコンバータと、アナログCCTVにはないユニークなオプション機器があります。

HDCCTVの今後

ボックス型カメラのほか、屋内向け赤外線照射機能搭載ドーム型・EDH5240、屋外向けドーム型・EHH5200・屋外設置対応の電動ズーム内蔵カメラを発売予定です。

レコーダではアナログカメラとHDCCTVカメラを同時に接続できるハイブリッドタイプを開発中。レジや金庫等高解像度での撮影を必要とする箇所のみをハイビジョン化(同軸ケーブルはそのまま使用)、他のカメラは既存のものを利用といった使い方も可能です。



エヴァーフォーカスジャパン株式会社

〒130-0022 東京都墨田区江東橋2-13-4 錦糸町シティビル5階

Tel : 03-5625-8188 Fax : 03-5625-8189

www.everfocus.co.jp info@everfocus.co.jp



下降傾向に歯止め 2009年の増収企業上位10社

振り返れば、2008年から2009年までの景気後退の影響は数ヵ月後まで感じ取れなかった。サプライヤの不足、サービスの不足、コスト上昇、動きの鈍い購買者など、すべてが原因となり、大変な年になった。世界が回復に向けて小さな歩みを踏み出した今、2009年の増収企業上位10社を見ると、これらの企業が苦勞の末に業績を残したことがわかる。

編集部

経済環境の悪化とプロジェクトの遅れにもかかわらず収益を伸ばした上位10社の大多数は、交通、政府機関、教育、市街地や公共の場での監視、娯楽の市場において、大規模プロジェクトを完成させている。

政府や市行政機関の資金による大型公共プロジェクトは、予算が削減されても継続が可能だった。民間資金によるプロジェクトの場合は、財政的な不安はより大きかった。アクシスコミュニケーションズ社によると、一部の顧客が導入の意思決定を遅らせた主な理由の一つが景気後退だった。中国や南米では社会基盤整備

の強化が進みつつあり、特に南米では市街地監視プロジェクトが増加していると、同社CEOレイ・マウリッツソン氏は語る。MOBOTIX社は、ウクライナのスポーツスタジアム、パチカン市国の図書館など、ドイツおよび国外でいくつかのプロジェクトを完成させている。

小売業界でも、セキュリティ設備の必要性によってプラスの成長がもたらされた。ベリント・システムズ社アジア太平洋地域担当技術役員ケネス・ツァン氏は、「小売業者がセキュリティと損失防止という圧倒的な課題に直面し、損失をもたらす店舗関連の活動を評価し認識するため

に、情報化した高効率の方法が必要になり、小売市場も増収に寄与した」と語る。

センター・フォ・リテイル・リサーチ社が作成した2009年の小売盗難指標によると、2009年前半は主に景気後退の直接的影響を受け、小売業界のセキュリティ関連支出は大きく落ち込んだ。2009年の調査では、調査対象の小売業の15.9パーセントがすでに映像監視システムを新設し、28.7パーセントが設置を計画していたことが判明した。2010年の調査では、2009年後半に始まったセキュリティ機器の設置は29パーセント増加した。

地理的格差

他の増収企業は、必ずしも縦型構造ではなく、地域ごとに事業を発展させることに集中し、販売活動の強化を図った。

RCG社CEOダットリー・ブーン・ハー氏は、2009年に同社は景気後退の影響が少ない地域、すなわち



東南アジアや中国本土そして中東に注力し、これが収益の大部分に貢献したと語る。

地域市場の顧客向けに、ダファ・テクノロジー社は様々な戦略を採用した。欧州および米国市場にはOEM機器を供給した一方、南米とインド市場向けには、ダファ・ブランドのソリューションの販売促進を行った。Hikvision 社国際マーケ

ティング担当取締役トニー・ヤン氏は、米国や欧州市場は、その他の地域に比べて景気後退の影響が大きかったと語っている。同様に、ドイツに本社を置くMOBOTIX社は、輸出ビジネスが2009年の成長の原動力となり、海外における十分なビジネスチャンスがもたらされたと考えている。

入しているにもかかわらず、インディゴビジョン社、アクシス社、MOBOTIX社など既存のメーカーは、これら大手参入による競争激化に対しても自信を持っている。「映像監視市場は、様々な濃度で成長の余地を残すべく細分化されている。従って、大手がIP市場に参入してきても、我々はさほど影響を受けていない」とマウリッツソン氏は言う。「2009年にはアナログも落ち込んだが、そのおかげで、アナログからIPへの移行が進行した」。

マウリッツソン氏もインディゴビジョン社CEOオリバ・ベラコット氏も、2009年の景気後退以降、IP分野の成長は加速していると言う。アジアのIPメーカー数社が低価格製品を市場に投入しているが、IP化により収益を伸ばした各社は、この市場が十分な大きさを持つと考えて

アナログからIPへの移行

2009年、アナログからIP技術への移行は年間を通して進化した。現在、ペルコ社、ボッシュ・セキュリティ・システムズ社など多くの大手企業がIP市場に参



アクシスコミュニケーションズ社
CEO
レイ・マウリッツソン氏



ペリント・システムズ社
ケネス・ツァン氏

いた。標準化団体ONVIFおよびPSIAは、2009年のIP増収企業にとって重要な存在となった。これらの標準に準拠したソリューションの登場により、既存システムとの互換性を保ち、新旧システムの併用が可能になったからだ。

特筆事項

2009年、プロジェクトが少なく、支出も限られている状況において、増収企業各社は次々と新製品を発表した。この機会に製品ラインを完成させ、他のベンダを検討したかもしれない顧客に、より広範な品揃えを提示した。アクシス社によると、製品への関心は引き続き高いものの、顧客の設備投資の意思決定は以前ほど好ましいものではなかった。こうした市場観測にもかかわらず、同社を含む上位10社のすべてが、新製品を市場投入し続けることは常に強力な優位性であり、競合企業に対する強力な防御手段になると考えていた。

増収企業各社は、新製品の発表によって市場シェアの拡大を図るため、研究開発予算を削減しなかった。これらのメーカー10社すべてが、研究開発部門を中核部門と見なし、拡大とまではいかないものの、以前と変わらない資源と人材を投下した。研究開発への投資は、年間収入の10～13パーセントの範囲で行われた。このような対応が可能だったのだから、コスト削減が第一の関心事となる厳しい時期でも研究開発資源は削減すべきでないと言える。

販売業者の選定に際して、セキュリティ製品販売の実績、IPの専門知識の有無は問題にならなかった。通常、メーカーが販売業者向けに広範な研修を実施しているからだ。「販売業者がIPの知識を備えていれば付加価値になることは間違いないが、当社としては、IPに関する知識の有無は問題にしていない」とツアン氏は言う。

ネットワーク技術を理解している販売業者は製品の機能に精通しているかもしれないが、設置方法やアプリケーションに精通しているとは限らない。「販売業者がアプリケーションを活用したサービスを理解し、顧客に提供できるように、すべての販売業者を対象とした研修を実施している」とマウリッツソン氏は語る。

原材料が不足している上に物流コストがかかることが、増収企業の一部にとってはもう一つの大きな障害となった。部品の納期が長くなり、1年もかかることがあったため、納期を早めるための十分な計画を物流、そして戦略スケジュールに組み入れる必要



があった。「今年、海路で出荷する製品の量が非常に増えている。当社の地域拠点で適正な在庫を確保するよう、事前に計画を練っている」とベラコット氏は語る。

明るい見通し

苦難の時期から経験を得たことで、2009年の増収企業各社は景気回復に関して楽観視しており、新規事業計画と研究開発への取り組みを既に始動している。これら増収企業にとっては、柔軟性を維持すること、コストを徹底管理することが、それに従って事業計画を調整することが、新たな高みを目指す上で必要不可欠だった。「前進を続けることだ」とベラコット氏は言う。「当社は、この先、多くのビジネスチャンスを見込んでい



RCG社CEO
ダットリ・ブーンハン氏



インディゴビジョン社CEO
オリバー・ヴェラコット氏

る。多くのビジネスチャンスを見込んでい

第19回 セキュリティ・安全管理総合展

SECURITY SHOW 2011

3月8日(火)～11日(金)

東京ビッグサイト 東ホール

10:00～17:00 (最終日のみ16:30終了)

主催：日本経済新聞社

www.securityshow.jp

Webサイトの事前登録で入場無料 (3月7日まで)
出展社への質問や相談をWebサイトで受付中!



オフィス、店舗、公共施設、住宅をはじめ、街や社会の「安全・安心」を実現する
映像監視や入退管理、侵入検知などの製品・サービスを一挙紹介

お問い合わせ

NTTハローダイヤル 03-5777-8600(ご案内は3月まで)

入場料

当日一般=1,500円
当日団体<20名以上>=1,000円(税込み)

後援

警察庁、(独)情報処理推進機構、日本商工会議所、全国商工会連合会、
(財)店舗システム協会、米国大使館商務部 (順不同)

協力

テレビ東京、日経BP社 (順不同)

協賛

(社)日本防犯設備協会、(財)全国防犯協会連合会、
(社)全国警備業協会、(社)全国建設業協会、日本EAS機器協議会、
(社)日本設備設計事務所協会、(社)日本シャッター・ドア協会、
日本ロック工業会、(社)日本サッシ協会、板硝子協会、
日本ウインドウ・フィルム工業会、(公財)日本盲導犬協会、
(社)日本ファシリティマネジメント推進協会、(財)日本情報処理開発協会、
(社)日本自動認識システム協会 (順不同)



SECURITY SHOWの
最新情報が手元に!
「日経の展示会」iPhoneアプリ
2011年2月リリース(予定)

同時開催展

JAPAN SHOP / 建築・建材展 / リテールテックJAPAN / IC CARD WORLD / ライティング・フェア / フランチャイズ・ショー

不景気でも利益を増大

景気後退に伴い、手頃な価格の製品が増加し、価格の引き下げも進んだが、それでも何とか増収を果たしている企業も数多く存在する。こうした企業の成長要因と成功のための差異化策を探る。

編集部

過酷な経済環境において利益を上げ続けることは決して容易ではない。それでも、2009年、多くの企業が増収を果たした。ここでは、増収企業上位10社に注目し、このひどい経済環境下で、いかに利益を伸ばしたかを見ていく。大部分の企業が不況のため増収予測を下方修正した。2009年、セキュリティ関連メーカー50社のうち利益目標を下方修正した企業はなかったが、平均損益は4.2%であった。

増収企業上位10社中8社が、ネッ

トワーク映像製品プロバイダであるMOBOTIX社、インディゴビジョン社、マイストーン・システムズ社、アクシスコミュニケーションズ社をはじめとする映像監視ソリューションプロバイダであった。また、ダファ・テクノロジー社、Hikvision社、Hi Sharpエレクトロニクス社、C-Proエレクトロニクス社というアジア企業が躍進し、利益を拡大した。残る2社はL-1アイデンティティ・ソリューション社とRCG社であり、10社すべてが2桁の増益を記録した。

セキュリティ関連50社がおしなべて減収となったのに対し、MOBOTIX社の32.9%増収は驚くべき数字であり、増収上位10社のNo.1である。同社CEOラルフ・ヒンケル氏は「売上総利益率は、規模の経済の効果のおかげで向上した」と語る。プラス効果としては、58.8%の伸びを示し、収益性を高めたドームカメラの売上増などが挙げられる。

インディゴビジョン社は、収益増29.8%、売上総利益率64.1%の伸びを達成した。同社は「売上総利益率は昨年度より低下したが、これは売上構成と売上量の増加が反映したものである。しかし、売上総利益率が寄与し、売上高は30%増加して過去最高の2,610万米ドルを達成した」と発表している。営業経費が24%増え、2,100万ドルとなったのが利益の減少の一因だ。

市場に新規参入したマイルストーン社が18.7%の増益を達成したことも、決して驚くべきことではない。「米国では、特に教育や交通、市街地監視や生産工程などの分野での業績が良好だ。小売も徐々に回復している」とマイルストーン・システムズ社セールス&マーケティング責任者エリック・フラートン氏は語る。「アジアと欧州では政府の景気刺激策が取られ、主要社会基盤整備事業では常時監視が必要とされ、大規模な監視カメラの配備が要求されている」。



メーカーは、利益を確保すると同時に製品価格を圧迫する運営コストも有している。2010年は部品不足、在庫および出荷費用による圧迫を受けた。

L-1アイデンティティ・ソリューション社は、売上総利益率は30%から29.4%へとわずかに減少した。同社は、「この減少は生体認証の収益が減少し、セキュリティ資格認定やセキュリティサービスの収益が増えたことによるものだ」と発表している。

技術革新

この業界は、業種別のアプリケーションとローエンド製品という2つの方向に向かっている。今年収益を伸ばした企業にとって、こうしたソリューションこそが今後進むべき道となろう。

HDと屋外カメラのソリューションの提供により、アクシス社は2009年も黒字を維持することができた。同社は収益の13%を研究開発に当てると明言しており、サーマルイメージングが同社の次の差別化技術となる。「2009年、約20の新製品を発表したが、これが当社の成長に寄与したことは間違いない」と同社CEOレイ・マウリッツソン氏は語る。「ベンダとの提携という点で、ONVIFをはじめとするパートナープログラムも当社の成長と利益に貢献した」。

MOBOTIX社も製品開発に注力しており、2009年には53名の人員を配置し、550万ドルの研究開発費を投下した。同社は、昨年、4つのカメラ製品ラインにおいて、処理能力を倍増した新プロセッサに切り替えたと発表している。しかし、これに伴い、製品の機械的な調整が必要になり、新製品の発表を遅らせ、生産のすべてをドイツで行わなければならなかった。

RCG社は、入退管理用RFIDと生体認証のラインナップを揃え、これが同社の堅調な利益率の確保に貢献した。「当社は毎年、研究開発に多額の投資を行って

る」とRCGのCEOダッドリー・ブーンハン氏は語る。「当社の研究開発グループは、様々な市場の需要を満たす革新的な製品とソリューションを設計している。創業11年の当社は、競合企業との差異化を図る多種多様な製品とソリューションを提供しており、これが当社の成長と継続的な成功の鍵を握っている」。

教育

ソフトウェアプロバイダ、マイルストーン・システムズ社の場合、販売業者向けの研修は必要不可欠だ。研修を行わなければ、設置業者もユーザも管理ソリューションの特長をすべて引き出すことができない。「2009年、コストと効率の観点からコネックス・インターナショナル社と提携し、米国内で専門研修を実施した。そして今年、全世界でプリセールス、製品研修サービスを低コストで改善すべく、投資を行うことを決定した」とフラートン氏は語る。

同社は社内で研修を実施していたが、米国内でコネックス社が同じ研修をより迅速に実施できていることを知った。「販売代理店とシステムインテグレータ(SIer)を対象としてこの研修を有料で行っているが、彼らは研修コストの2倍以上の価値のあるソフトウェア・ライセンスを無料で持ち帰り、販売している」とフラートン氏は言う。

「コネックス社は毎週8つ以上の実務研修とクラスを提供しているうち、各クラス生徒数が8~12名であることから年間数千人の研修生を認定することができる。これは当社が社内で

行うよりはるかにコスト効率に優れている」。

製造コスト

メーカーにおいては、製品やサービスの価格と収益性に影響を及ぼす、様々な営業経費が発生する。本年、製造コストは、部品の不足と倉庫スペースの制限の影響を受けた。また、最終価格は国際ビジネスでは避けて通ることのできない通貨変動の悪影響を受けた。

MOBOTIX社は、資材利用率すなわち総生産に占める資材のコストを、29%から26.2%にまで引き下げることができたと発表している。

海外支店の設置により、コストの一部を節減することができる。「実質的なコストは、社外の物事ではなく、当社が成長し、規模拡大時に発生する」とHikvision社国際マーケティング担当取締役トニー・ヤン氏は言う。「当社は2008年にインドで合弁企業を立ち上げ、2009年にはロシアでも合弁企業を、そして欧州各地に事業所を設立した。米国事業所の拡張とは別に、これらの合弁企業や事業所は、新たな市場に参入することで柔軟性が増すという理由から必要な投資だった。こうした現地事業所の運営により、最短時間でより多くのサービスとサポートを市場に提供することができ



MOBOTIX社 CEO
ラルフ・ヒンケル氏



マイルストーン・システムズ社
CSO兼CMO
エリック・フラートン氏

る」。

他社においては、新たな拠点を設けることが収益の向上につながった。「2009年半ば、事業本部をマレーシアのRCGタワーに移転した。これにより営業経費が削減でき、大きなメリットがもたらされたが、これは世界的な金融危機の中で極めて重要な変革となった」とリー氏は語る。「競合企業が参入してきたが、価格モデルを調整して顧客誘引力を維持した。今後も利幅を維持できると考えている」。

製造工程を自動化し、製造施設を移転したメーカーもあった。アッサ・アビ社は増収上位10社には入っていないが、同社国際技術部門が生産拠点を西欧から中国に移したことは注目に値する。ボッシュ社やパナソニックなど、中国国内に生産拠点を有するメーカーに仲間入りしたのだ。世界のセキュリティ機器の大部分はアジアで製造されているため、今後、製造拠点を東アジアに移転する企業が増加すると思われる。

課題

多くの外部的な課題を考慮すると、顧客とのつながりを重視する企業がいかに多いかという事実は興味深い。長期的戦略を持った多くのメーカーが、販売努力とは別に、顧客要求第一主義こそ今後も優



利益を上げ続けるのが容易ではない苛酷な経済環境で、多くの企業が増収を果たした。50社中1社も利益目標を下方修正しなかったが、2009年の平均損益は4.2%だった

先すべき事項であると繰り返し述べている。

IPへの移行は、依然として乗り越えるべき課題だ。「IPはまだ市場の30%を占めるに過ぎず、移行はまだ続いている」とマウリッツソン氏は言う。「当社はこれからも教育に力を注ぎ、より競争力のある魅力的な製品を提供し、より小規模な市場にも浸透していく」。

その他の各社も、IPを刺激的な課題と捉えていた。「セキュリティ市場は旧式

のアナログからIPへと移行しているが、この移行の90%は今後発生する。当社にとっては明確なビジネスチャンスとなる」とインディゴビジョン社CEOオリバー・ヴェラコット氏は言う。

また、教育はメーカーにとって長期的な課題だ。「既存の設備がそのまま利用できる新技術もある」とヤン氏は言う。「ユーザは、製品の買い替え時の実際の費用を理解すべきだ。ユーザが買い換えに極めて慎重ならば、当社としてもこうした懸念に対処する必要がある」。

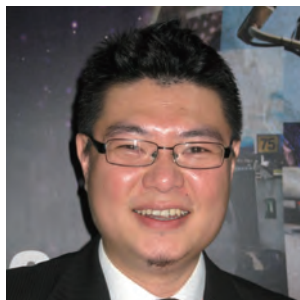
さらに、新技術導入は今後も大きな課題だ。「当社にとって、また業界にとって重要な課題の一つは、新たなニーズに対応して個々の問題を解決することのできる技術が進化する速度だ」とフラートン氏は言う。「映像が様々な業務に対応可能であるということが今後ますます高く評価され、顕著になっていくにつれ、より低次元の分析、半導体ストレージ、事故報告管理などの分野で興味深い開発やアプリケーションが見られるだろう」。

そのため、このような状況を受け入れることも課題である。L-1社が指摘するように、生体認証は事業として、今後もっと広く受け入れられなければならない。「生体認証ベンダ各社は、コストと性能と信頼性を競う準備を整えていくことになる」とL-1社は発表している。

収益を伸ばす特效薬などない。ネットワークカメラ分野のアクシス社のように、新技術を他に先立って商用化すれば優位に立つことができるが、利益を上げるための確実な方法とは言えない。優れた価値とコスト効率の高い性能を有するソリューションを提供すれば、より多くの見返りを得ることができる。従って、メーカー各社は、最新の機能の販売を促進するのではなく、顧客のニーズに真剣に耳を傾けることになる。競争に勝利するソリューションを開発し顧客を維持するには、長期戦略と顧客に対する誓約が必要だ。



L-1アイデンティティ・ソリューションズ社CEO兼社長
ロバート・ラペンタ氏



Hikvision社国際営業担当取締役
トニー・ヤン氏

secutech

THAILAND

セキュリティ/消防/安全管理の国際展示会

2010年11月30日までのご予約で早期
割引の優待が受けられます！

出展社募集中！ タイで初開催のセキュリティ/ 消防/安全管理の国際展示会

2011年6月30日～7月2日

バンコク国際見本市センタ

(Bangkok International Trade and Exhibition Centre(BITEC))

www.secutechthailand.com

特徴：

- ✓ タイ政府はじめ、国内外の有数の企業団体が後援・協賛。
- ✓ ASEAN 地域最大のセキュリティ市場であるタイでの開催。
- ✓ タイおよび周辺国から訪れる多くの産業従事者との接点の場です。
- ✓ 多彩な同時開催イベント：グローバルデジタル監視フォーラム・タイ (GDSF Thailand)、
消防/安全管理セミナー、製品プレゼンテーション

公認メディア：

お問い合わせ先

メサゴ・メッセフランクフルト株式会社

Tel: 03-3556-3912

Fax: 03-3262-8442

info@japan.messefrankfurt.com


Messe Frankfurt New Era Business Media Ltd

Tel: (852) 2802 7728

Fax: (852) 2598 8771

stth@newera.messefrankfurt.com

 **THAILAND**
convention & exhibition bureau

 **messe frankfurt**

ケーティークワークショップ、 第5回IP監視カメラシステム展を 開催

ケーティークワークショップは、2010年12月3日午前10時から午後5時まで東京国際フォーラム4階で第5回IP監視カメラシステム展を開催した。今回は、ケーティークワークショップが取り扱うマイルストーン・システムズ社のXProtectコーポレートの日本語版提供開始の情報があったこともあり、開場の午前10時から多くの来場者が足を運んだ。

出展企業

今回のIP監視カメラシステム展には、13社の出展企業が出展して各社それぞれの製品とXProtectを接続して実演を展開していた。今回はIPカメラゾーンとIPソリューションゾーンを設けていた。IPカメラゾーンでの出展企業を五十音順で紹介すると、ACTi(アクティ)、ソニービジネスソリューション、パナソニックシステムソリューションズジャパン、ホーチ

キ、ミタカ通信、MOBOTIX JAPANの6社だった。一方、IPソリューションゾーンでは、ISSテクノロジーズ、朝日ネット、日本ヒューレット・パカード、ピー・エム・シー、ムサシパーテーション工業、ユナイテッドコミュニケーションサービス、リマージュジャパンの7社が出展した。

セミナーの充実化

今回の大きな特徴の一つに出展企業によるセミナーを終日にわたり開催したことがある。また、展示会場に隣接したスペースを用意したこともあり、午前開催から夕方開催の最終セッションまで満遍なく聴講者を集めることができた。

来場人数283人

主催者であるケーティークワークショップでは、当日の朝が大荒れの天気だったことで来場者数について懸念していたが、その後天気も回復し、結果として283名の来場者を集めることができた。これはこれまでの最多来場者数であった2010年2月に開催した第三回に匹敵する数字となった。

来場者の詳細情報

来場者を詳細に見ると、情報システム、ソフトウェア開発、インターネット関連などのIT・情報・通信・システム構

築が最も多く、次いで建築・販売施工・サービスで、供給側が約55%を占めている。そして、製造業と小売・流通業などの導入側が35%だった。これまでのデータと合わせて時系列でみると、開催を重ねるごとに導入側の比率が高まってきている。このことから、IP化の本格的導入が一步一步近づいていることがわかる。

IP化への高い関心

第5回目を迎えた今回のプライベートショーだが、開催を重ねるたびに来場者のIP監視カメラ・ソリューションに対する関心が高まっていることがわかる。これは来場者数からみても明らかだが、毎回出展している協賛企業の担当者のコメントにも表れている。そして、関心の高まりに伴って、IPカメラやNVRといったハードウェアに関する知識から、IPやネットワークといったシステムに関する実務的な知識まで、情報収集と理解度の高まりも顕著となっている。

主催者であるケーティークワークショップでは、IP化の関心と理解がますます高まることは確実で、不可欠の要素となる日も近いとの判断から、2011年も引き続きプライベート・イベントを実施していく考えで、次回は2011年6月を計画している。




アクシスコミュニケーションズ、 「Axisパートナーフォーラム 2010冬季大会」開催

アクシスは2010年12月9日に、同社ビジネスパートナー各社を対象とした「Axisパートナーフォーラム2010冬季大会」を開催した。これは、同社が2009年から実施しているC P P (チャンネルパートナープログラム - 販売支援策)の一環で、アクシス製品の販売に関する販売店支援プログラムである。本プログラムは毎年4月から3月までの年次単位で運用されている。

対象起業は登録販売店で今回は約100名が参加した。登録販売店は取扱い金額によりゴールドパートナー (SGP)、シルバーパートナー (SSP)、認定パートナー (ACP) の3種類の認定を受け、それぞれの特典を活用することができる。さらに、アクシスからの定期的製品販売情報をはじめとした各種の情報提供を受けることができる。また、販売上重要な以下の各種サービスを受けることができる。

- ①チャンネルパートナーニュースによる月次製品販売情報の取得
- ②パートナーフォーラムなど各種製品販売情報イベントへの優先参加
- ③技術情報教育プログラム (Academy)への参加
- ④展示用および評価用機材の無料貸出
- ⑤展示用および評価用製品の特別価格による購入


- ⑥アクシスサイトでの販売店紹介
- ⑦大規模商談に対するプロジェクト特別割引制度の利用

- ⑧代理店を通じての報奨金制度 (代理店により運用は異なる)

当日は第1部でアクシスの販売戦略、第2部でアクシス製品および製品情報ツール、第3部でネットワークビデオソリューションなどを紹介した。また、セミナーだけでなく、アクシスおよび協賛企業の製品を展示していた。出展協賛スポンサーおよび展示品は下記の通りだった。

- R.O.D: V G A出力をサポート、PCレスのモニタリング・システムを実現して、従来の機能はそのままにローカルでの運用が可能となったVioStor-Pro。
- ケーティーワークショップ: 世界84メーカー947機種のカメラに対応して、高機能ビューアソフトと広範囲なカメラ管理を実現するマイルストーン社X Protect。
- サクサ: グループ会社のシステムケイが提供するNVRシリーズと電話機と連動したIPテレビインターホン。
- サンシステムサプライ: ONVIF対応となったexacqVisonバージョン4.4、最新アクシス製品との協業、iPad/iPhoneやAndroid携帯端末用アプリケーションなど。



- Gnetec/ジャバテル: ハイエンド世界シェア約20%のGenetec社製Omnicastを搭載し、クライアントPCが不要なジャバテル製NVRエイロク。
- トリワークス: 優れた操作性とアクシス製品と高い親和性を有するArobaView。
- ネットカムシステムズ: ネットワークカメラ専用録画ソフトウェアのKxView、車両ナンバー認識、顔認証、クラウド方式を採用した遠隔録画サービス「さば録」など。
- ネットギアジャパン: ギガビットPoEスイッチとネットワークカメラそしてNASを組み合わせたPoEソリューション。
- 富士フイルム: アクシス製カメラで撮影した映像を高画質圧縮データで長時間記録することができるレコーダFVR-100。
- 三菱電機インフォメーションテクノロジー: 8TBのHDDを搭載し縦置きが可能な、省スペースで長時間録画を実現するネカ録NS-3500AVC。顔認証や入退管理などとの連繋ができ、標準で1年間のオンサイト保守付き。 

国内

3月

リテールテックJAPAN

会期：2011年3月8日～11日
 会場：東京ビッグサイト東1・2ホール
 主催：日本経済新聞社
 URL：www.shopbiz.jp/rt

IC CARD WORLD 2011(第13回)

会期：2011年3月8日～11日
 会場：東京ビッグサイト 東2ホール
 主催：日本経済新聞社
 URL：www.shopbiz.jp/ic

★ SECURITY SHOW 2011

会期：2011年3月8日～11日
 会場：東京ビッグサイト 東2・3ホール
 主催：日本経済新聞社
 URL：www.shopbiz.jp/ss

第11回JAPANドラッグストアショー

会期：2011年3月11日～13日
 会場：幕張メッセ
 主催：日本チェーンドラッグストア協会
 URL：www.drugstoreshow2011.jp

5月

第13回 データストレージEXPO

会期：2011年5月11日～13日
 会場：東京ビッグサイト
 主催：リードエグジビションジャパン
 URL：www.dse-expo.jp

第8回 情報セキュリティEXPO春

会期：2011年5月11日～13日
 会場：東京ビッグサイト
 主催：リードエグジビションジャパン
 URL：www.ist-expo.jp

第6回 RFIDソリューションEXPO

会期：2011年5月11日～13日
 会場：東京ビッグサイト
 主催：リードエグジビションジャパン
 URL：www.ridex.jp

第2回 クラウドコンピューティング EXPO 春

会期：2011年5月11日～13日
 会場：東京ビッグサイト
 主催：リードエグジビションジャパン
 URL：www.cloud-japan.jp

オフィスセキュリティEXPO (OSEC)

会期：2011年5月11日～13日
 会場：東京ビッグサイト
 主催：リードエグジビションジャパン
 URL：www.osec.jp/ja

ワイヤレスジャパン2011

会期：2011年5月25日～27日
 会場：東京ビッグサイト
 主催：リックテレコム
 URL：www.8.ric.co.jp/expo/wj

6月

画像センシング展 2011

会期：2011年6月8日～10日
 会場：パシフィコ横浜
 主催：アドコム・メディア
 URL：www.adcom-media.co.jp/iss

第5回「地域防災防犯展」大阪

会期：2011年6月9日～10日
 会場：インテックス大阪
 主催：大阪国際見本市委員会
 URL：www.exhibitiontech.com/bosai

7月

ワイヤレス・テクノロジー・パーク 2011

会期：2011年7月5日～6日
 会場：パシフィコ横浜
 主催：日本イージェイケイ
 URL：www.wt-park.com

海外

3月

Global Security Asia 2011

会期：2011年3月15日～17日
 会場：Sands Expo and Convention Center, Singapore
 E-mail：haiyen@globalsecasia.com
 URL：www.globalsecasia.com

Sectech Norway 2011

会期：2011年3月29日～30日
 会場：Radisson SAS Scandinavia Hotel, Oslo, Norway
 E-mail：marika.thelenius@armedia.se
 URL：www.sectech.nu

4月

★Protect 2011

会期：2011年4月5日～6日
 会場：New World Hotel, Makati City, The Philippines
 E-mail：leverage@leverageinternational.com
 URL：www.leverageinternational.com

★ISC West 2011

会期：2011年4月6日～8日
 会場：Sands Expo & Convention Center, Las Vegas, NV, USA
 E-mail：inquiry@isc.reedexpo.com
 URL：www.iscwest.com

★Expo Seguridad

会期：2011年4月12日～14日
 会場：Banamex Center, Mexico City, Mexico
 E-mail：jurgan.oliver@giprex.com
 URL：www.exposeguridadmexico.com

★Secutech 2011

会期：2011年4月20日～22日
 会場：Taipei World Trade Center Nangang Exhibition Hall, Taipei, Taiwan
 E-mail：veronica.chen@newera.messefrankfurt.com
 URL：www.secutech.com

★ MIPS 2011

会期：2011年4月26日～29日
会場：Zao Expocentre, Moscow, Russia
E-mail：ilya.sobolev@ite-exhibitions.com
URL：www.mips-expo.com

5月

★ IFSEC 2011

会期：2011年5月16日～19日
会場：National Exhibition Centre, Birmingham, U.K.
E-mail：kristan.johnstone@ubm.com
URL：www.ifsec.co.uk

★ Fire & Security Pakistan 2011

会期：2011年5月17日～19日
会場：Karachi Expo Centre, Karachi, Pakistan
E-mail：info@firesecurity.com.pk
URL：www.safesecurepakistan.com

★ Exposec

会期：2011年5月24日～26日
会場：Centro de Exposições Imigrantes, Sao Paulo, Brazil
E-mail：pacin@pacin.com.br
URL：www.exposec.tmp.br

6月

★ IFSEC SOUTH INDIA

会期：2011年6月1日～3日
会場：International Exhibition Centre, Bangalore, Karnataka, India
E-mail：alex.nicholl@ubm.com
URL：www.ifsecsouthindia.com

★ Secutech Thailand

会期：2011年6月30日～7月2日
会場：Bangkok International Trade and Exhibition Centre (BITEC), Bangkok, Thailand
E-mail：morris.ho@newera.messefrankfurt.com
URL：www.secutechthailand.com

7月

@4: ★ INDO SECURITY 2011

会期：2011年7月14日～16日
会場：Jakarta Convention Center, Jakarta, Indonesia
E-mail：info@indosecurity.com
URL：www.indosecurity.com

次号案内

2011年3/4月号 (3月7日発行予定)

特 集

詳説PSIM

特別企画

直前情報!!
SECURITY SHOW2011

個別市場

小売業
(予定)

新規連載

RBSS 2010
基準改正の解説

連 載

RF-ID、
ICタグ/カード

掲載情報募集中

製品紹介

日本国内で提供しているセキュリティ製品の情報を募集中です。掲載希望の製品に関する下記データをお送り下さい。

- ・ 140字程度の製品紹介 (箇条書きおよび「である調」または体言止め)
- ・ 製品画像データ 1点 (1メガバイト程度)

各種情報

セキュリティ産業関連情報を募集中です。掲載希望の内容に関する下記データをお送り下さい。

- ・ 150字程度の情報紹介文 (「である調」または体言止め)
- ・ 製品画像データ 1点 (1メガバイト程度)

送付先

ASJ社編集部 info@asj-corp.jp TEL：03-6206-0448 FAX：03-6206-0452

パナソニック、「パーラーIP監視グラフィックシステム」発売

パナソニック システムソリューションズ ジャパンは、パナソニックのネットワークカメラと連動し、高画質映像監視とスマート監視(簡単操作、省スペース)を実現する、「パーラーIP監視グラフィックシステム」を2011年2月より発売する。

本システムは、これまで培ったホール監視運用やホールコンピュータ連動技術などのノウハウを継承しつつ、パナソニックのネットワークカメラとの連動により高画質映像で多彩な監視を実現している。カメラ画素数では従来のアナログカメラに比べて約4倍の約130万画素に向上するなど、不審者の顔の特徴や細かな動作の確認がより容易となる。また、不正現場のマルチアングル撮影、複数画面表示で不正行為の状態確認や、ホール地図とシステムコントローラの連動で不審者の追尾が行え、不正防止に役立てることができる。さらに直感的な操作の実現や、大型フラットパネルディスプレイの利用によるシステム全体の省スペース化を図っている。

H.264メガピクセル対応カメラによる高画質映像監視

カウンターでの景品引渡し状況や、両替機の利用状況、不審者の特徴を高画質映像で確認す

ることができる。また、顧客間のトラブルで多く見受けられるドル箱の紛失や、私物の紛失などの状況も、経過時間ごとに監視画像を一覧表示させる機能により、トラブル発生ポイントを一目で確認することができる。さらに、録画映像のズーム表示機能により決定的な瞬間も確認できるため、事後検証に役に立つ。

ホール内イベントに応じた多彩な監視の実現

(1)不正行為の状態確認

不正を行っている現場をマルチアングルで撮影するなど、死角の無い監視が可能。またグループによる不正に対しては、マルチモニタリングで不審者それぞれの同時監視が可能。

(2)不審者の追尾

不審者の行動(遊技、両替、ホール内徘徊)に合わせた迅速な監視が行える。不審者の連絡を受けて、ホールMAPから周

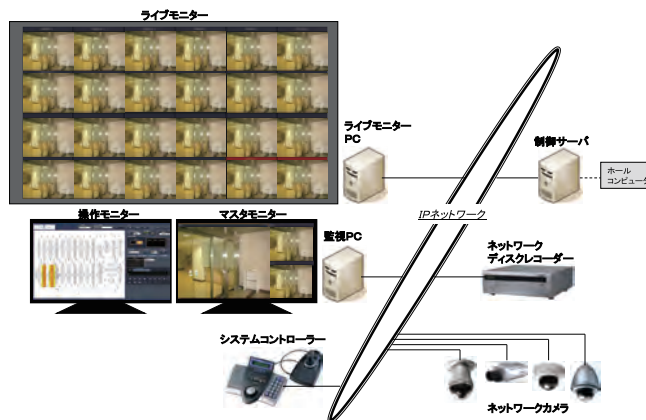
辺カメラを選択、不審者の確認と、システムコントローラを使ったカメラによる追尾が行える。さらに、注意人物の顔画像の登録が可能となり、スタッフによる目視でのモニター照合など監視強化に役立てることができる。

(3)ホールコンピュータと連動した監視

ホールコンピュータからの台異常などのアラーム情報により、異常が発生した場所の映像を自動で表示する。また、過去のアラーム情報から関連する映像を再生することができるため、迅速な事後検証が可能となる。

簡単操作とシステムの省スペース化の実現

記録映像の再生操作も、タイムバーやカレンダーなどのGUIにより、マウスでの直感的な操作によるスピーディな再生が可能。さらに従来システムでは固定だった各カメラの映像の表示器や表示位置が、本システムでは、「切り替え」運用が可能となり、大型フラットパネルディスプレイ1台(最大24分割表示)に、最大300台のカメラを切り替え表示することができ、監視モニター表示面積での省スペース化を図ることができる。



ソニー、フルHD対応ドーム型と720pHDボックス型を発売

ソニーは、1080pのフルHD映像出力に対応したコンパクトでスリムなデザインのドーム型ネットワークカメラと、デザイン性を追求しながらもコンパクトで720pHD映像出力に対応したボックス型ネットワークカメラを発売した。

「SNC-DH210」と「SNC-DH210T」

「SNC-DH210」と「SNC-DH210T」は、手のひらサイズ(直径106mm×厚さ50.5mm)で、質量160gの軽量とコンパクトさを実現したスリムなデザインで、ブラックとホワイトのカラーバリエーションにより、設置する壁や天井の色に合わせて選択ができる。また、ドームカバー付「SNC-DH210T」は、直接カメラのレンズが外に触れないために汚れにくく、外部からの衝撃に強い堅牢設計になっている。

主な特長として、解像度1920×1080ピクセル(16:9)のフルHD映像を最大15フレーム/秒(シングルコーデック時)で出力できる。また、高速な信号読み出しと低ノイズ化を実現し、有効画素数327万画素の1/2.8型“Exmor”(エクスマ)CMOSイメージセンサも搭載している。



SNC-DH210

メーカー希望小売価格「SNC-DH210」が78,750円、「SNC-DH210T」が86,100円

「SNC-CH110」

「SNC-CH110」は、720pのHD映像出力に対応したボックス型ネットワークカメラで、2010年7月に発売したフルHD映像出力対応の「SNC-CH210」に比べ、よりコストパフォーマンスを意識したモデルである。

直系44mm×奥行93mmのコンパクトサイズを実現し、カメラ本体の威圧感を軽減するデザインと、ブラックとシルバーのカラーバリエーションで、様々な場所になじむデザインとなっている。解像度1280×720ピクセル(16:9)の720pHD映像を30フレーム/秒(シングルコーデック時)で出力できる。メーカー希望小売価格「SNC-CH110」50,400円

共通する特徴

映像圧縮方式はJPEG、MPEG-4、H.264の3方式に対応している。H.264方式を採用したことで従来の圧縮方式に比べてネットワーク帯域を抑えて高画質な映像を伝送することができる。また、パ



SNC-DH210T



SNC-CH110

ン・チルト・ズームタイプのカメラを操作するように表示範囲の変更が可能な「ソリッドPTZ機能」を搭載し、必要に応じた方法で監視ができる。さらに、1台のカメラから同時に2つの異なる画角で映像を配信することにより、広い範囲と一部分を拡大して同時に監視ができ、カメラ2台分のモニタリングが可能になる。そして、低照度の環境で、自動的にカラーから白黒映像に切り替えて視認性を向上させる簡易デイ/ナイト機能を搭載し、状況に応じた映像を映し出す。

その他の主な特徴

その他の主な特徴として、PoE (IEEE802.3af準拠)対応をはじめ、ソニー独自仕様のカメラ妨害検知機能やDEPA対応も搭載している。また、侵入者などの人物や物体などの動作を検知する動体検知機能を搭載している。

そして、ONVIF対応により同規格に対応した他社製品のレコーダやレコーディング・ソフトウェアなどにも接続することができ、機器選択の幅や自由度が向上している。



ナブコシステムと岩崎通信機、無線認証システム「らくらくパス」を共同開発

自動ドアの日本国内最大手ナブコシステムと多くの無線技術経験を有する岩崎通信機は、自動ドア用無線認証システムとして「らくらくパス」を共同開発し、2011年2月から発売する。

信号を受発信する携帯機の所持者が自動ドアに近づくだけで無線認証を行い、認証を受けた所持者だけが通過できるハンズフリーの認証システム。使用無線は、LF電波(低周波)とUHF電波(特定小電力)の2種類で、はじめに、自動ドア近辺に設置したLFアンテナから携帯機を起動し、自動ドアエンジンケース内に設置できる小型コントローラが携帯機からのUHF電波を受信して認証する。携帯機が認証されたことをLEDによる光とブザーによる音で確認することができる。

【特徴】

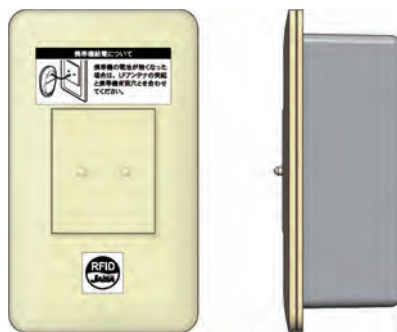
- 利便性：携帯機を読取機にかざす必要がなく、ポケットやカバンなどに所持しているだけで自動ドアを通過できる。また1つの携帯機で複数箇所の自動ドアと電気錠を解錠することができる。
- 3つのモード：コントローラが自動ドアの外部センサ等からトリガ信号を受けて認証する「スマートモード」、コントローラが予め設定した間隔で電波を送信し認証する「オートモード」、携帯機のボタンを押して解錠することができる「リモコンモード」を備えている。
- 携帯機の省電：携帯機はLFアンテナ

の設定した認証範囲でのみ動作するため、電池消耗を極力軽減する。電池切れの場合は携帯機をLFアンテナに近接することで認証することができる。

- 高いセキュリティ：2つの異なる周波数帯の電波利用により傍受の危険性を低減化し、さらに、コントローラと携帯機間は独自の暗号化していることで高いセキュリティを実現している。

【システム構成】

- コントローラ：LFアンテナからWake UpコードとコントローラIDを携帯機に送信後、携帯機IDを認証し、ドア等に信号を出力。1台に512台の携帯機登録が可能。
- UHFアンテナ：携帯機からコントローラに発信するUHF帯電波を受信。針金タイプとホイップタイプの2種類を使用状況に応じて選択。
- 表示LED/ブザー：コントローラが携帯機を認証したことを所持者は光と音で確認。
- LFアンテナ：Wake UpコードとコントローラIDなどの起動電波を携帯機に送信。



- 携帯機：自動受発信のほか、表面のボタンでリモコン操作が可能。さらに裏面の穴をLFアンテナの突起部と近接することで給電が可能。



- アプリケーションソフトウェア：コントローラの各種設定や、携帯機の登録や削除、携帯機の認証ログの取得や閲覧などを行う。

【対象市場】

マンションなどの住居からオフィスビルや商業ビル、倉庫や工場そして病院などでの入退管理システムとしての導入を提案する。また、ナブコシステムが現在販売しているセキュリティゲートに搭載することもできる。

【販売価格】

1システム：約200万円(携帯機100個、コントローラ2セット)



日立製作所、 「機器組込用小型指静脈認証ユニット」の 新モデルを販売開始

日立製作所は、個人認証を必要とする金庫、ロッカ、キャビネット、タイムレコーダ、専用端末などに、認証装置として組み込むことができる「機器組込用小型指静脈認証ユニット」の新モデル PCT-KCC5031/PCT-KCC9031 を日立ソリューションズと共同開発し、販売開始した。

本製品は、同社がこれまで販売してきた「機器組込み用小型指静脈認証ユニット」において、高く評価されてきた「小型」「軽量」「高い認証性能」という特長を継承した上で、新たに開発した指静脈撮影制御技術を投入することで指静脈の登録・認証機能を強化し、部屋に射し込む日光や強い照明の下といった強外光環境下の室内においても指静脈パターンの登録・認証がしやすい「外光対応モード」を搭載した。

また、指静脈データを登録する際に、撮影した指静脈画像の品質を評価し、より高品質の画像を選択して登録することを支援できる「画像品質評価機能」と、認証成功時に登録データと認証データの適合度を評価する「認証適合度評価機能」を搭載した。

さらに、ユニット内に登録できる指静脈データを、従来モデルの倍以上の360指に拡大し、より多くの利用者を対象とする認証処理への適用を可能とした。

新しい「機器組込み用小型指静脈認証ユニット」は、例えば日光が射し込む室

内に設置したロッカ、キャビネット、タイムレコーダなど、従来以上に多様なシーンへの活用が可能で、また組込機器と連携して利用者に指の置き方をガイドするなど、使いやすさを向上することができる。

新モデルの特長

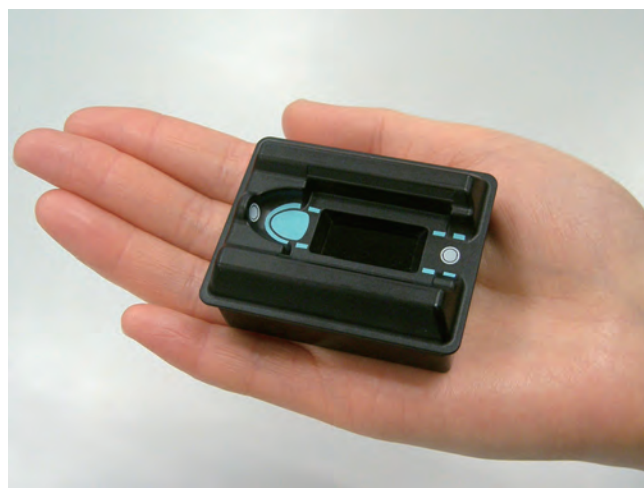
(1) 「外光対応モード」搭載

ユニットに当たる光の向きや強さに応じて、指静脈の撮影条件をきめ細かく制御して外光の影響を低減する技術を開発し、従来モデルでは困難であった10万ルクスといった強外光環境下での指静脈の登録・認証機能を強化した「外光対応モード」を搭載した。これにより部屋に射し込む日光や強い照明の下でも指静脈認証ユニットを活用できるようになった。

(2) 「画像品質評価機能」と

「認証適合度評価機能」の搭載

指静脈データの登録時に、撮影した指静脈画像の品質を5段階評価して出力する機能を搭載した。これにより、例えばユニットを組み込む機器側で、品質の良い指静脈データを選択して登録できるようになる。また、認証成功時に、登録



データと認証データの適合度を3段階評価して出力する機能を搭載した。この機能を活用することにより、例えば評価値に基づいて適切な指の置き方を組み込み機器がガイドするといった使い方も、別途組込み機器側での開発によりできるようになる。

(3) 登録データ数の拡大

指静脈の登録データ形式を改良したことで、ユニット本体に記憶可能な指静脈の最大登録データ数を、従来モデルの2倍以上となる360指に拡大した。これは1グループで15指を登録し、24グループを登録することができ、複数のグループにまたがる認証も可能となっている。これにより、より多くの従業員を有する企業での勤怠管理などにも適用できるようになった。



リスペクトシステムズ 「キーチェッカー」 スタンドアロン版を発表



リスペクトシステムズは、2010年に開発した鍵点検・持出・返却管理をシステム化した「キーチェッカー」のスタンドアロン版を発表した。また同時に低価格帯読取機も発表した。

開発の背景

鍵を紛失することで発生する損害は多大なものとなる可能性がある。ある警備会社では、鍵を紛失し、依頼主から高額な賠償を命じられた例も発生している。鍵の紛失、管理の不備は依頼主からの信用を無くし契約破棄などにつながるだけでなく、情報社会である現代では、口コミなどにより悪評が広がることで取り返しのつかない損失を生じさせる可能性を有している。そこで「キーチェッカー」を採用すると、依頼主から預かった鍵を確実に管理することが可能となる。

「キーチェッカー」の特徴

- 1) 点検が簡単で毎日実施することを可能。いつまで鍵が存在していたかな

どを時系列での把握が簡単にできる。

- 2) 鍵の持ち出し、返却管理が容易。
- 3) 本部でも点検状況や持ち出し情報が確認できる安心管理。
- 4) データ送信は携帯電話を利用し、現場ではパソコンの新設や設置も不要。
- 5) 安価なICタグやタグ読取機を使いローコストでの管理が可能。
- 6) 鍵の本数が多い場合でも、ICタグ付きキーホルダを付けるだけで簡単に管理ができる。

「キーチェッカー」の仕組み

まず、管理する鍵にICタグを取り付ける。ICタグは位置データをインターネット経由でリスペクトシステムズが管理しているサーバに送信する。管理サーバは、インターネット経由で鍵の点検結果を確認する。ICタグで確認した位置データをサーバに送信する。警備会社は、インターネット経由で点検状況や鍵情報を確認する。

スタンドアロン版

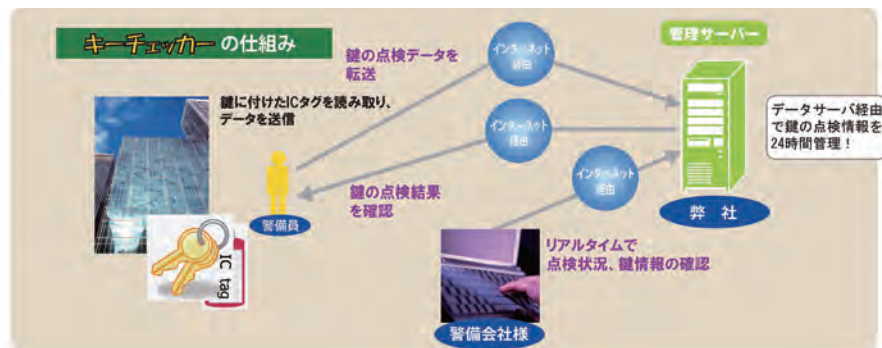
前述のように、これまでの「キーチェッカー」では、鍵の管理をWEBサーバ上で管理するASPサービスということで、複数の管理場所からの鍵の点検や持ち出しや返却を管理することができた。ただし、WEBサーバ上での管理を必要としない企業には過度なサポートとなり、毎月の管理費など不必要な出費を強いることにもつながっていた。今回の「キーチェッカースタンドアロン版」では、毎月の管理費を必要とせず初期費用のみで「キーチェッカー」を利用できるようにしている。

低価格版読取機の特徴

低価格読取機は、14m×8cm×4cmの寸法で、据置型としての利用はもちろん、携帯型としてキーケースなどに並んでいるICタグ付きの鍵にかざすことも可能。本製品価格は既存製品の1/3程度と大幅に低価格を実現している。

リスペクトシステムズ

警備・清掃・ビル管理会社が「安心」して業務に専念することができるシステムの開発および運用、POS・RFID関連システムの受託開発を主たる業務として、各種企業のIT化に関するコンサルティングやVPN等のネットワーク導入のサポートを行っている。



CompoSec

第三回 セキュリティ用電子部品展示会&フォーラム

効率の高い製品を探していますか？

電子部品がセキュリティ製品の機能を左右します。

フォーラム概要：

1.HD 映像キャプチャ、映像処理・圧縮の IC 半導体ソリューション

画像センサ、ISP / DSP、コーデック、デコーダ (Mixed Signal IC)、SoC / SiP、FPGA / PLD

2.IP 伝送や接続インタフェースの向上、ワイヤレスの普及

HD-SDI、USB コントローラ、ブリッジ IC(SATA / SAS)、イーサネット / 無線 LAN / 高周波 IC、バスインタフェース IC、3G / LTE / WiMAX モジュール

3. インテリジェント認証技術の統合

生体認証モジュール、RFID / スマートカード IC、プラットフォーム (OS / CPU)、ハードウェア暗号化、ソフトウェア、セキュリティ / 動体センサ

4. セキュリティのエコ化

HDD / ODD、Flash / SSD、電源 IC、MCU、MEMS、LED(ディスプレイ / 照明)

CompoSec は電子部品の供給社とセキュリティ機器メーカーに最適な交流の場を提供します。



EXHIBITORS

APACER, ASPEED, AVC INDUSTRIAL, AVISONIC, CLAIRPIXEL, CORESOLID STORAGE, GENNUM, GIGAWAY, GRAIN MEDIA, HUPER LABORATORIES, HYVIEW, ICNEXUS, INNODISK, INTERSIL TECHWELL, LG, MARCO IMAGE, NEXTCHIP, PIXELPLUS, RICHNEX, SHENZHEN BENCENT, STRETCH, SUNNIC, TAMRON, TSSI, TEXAS INSTRUMENTS, TRANSCEND, TRANWO, WESTERN DIGITAL...

SPONSORS



secutech 同時開催

主催：メッセフランクフルト ニューエラ ビジネスメディア

2011 年 4 月 20 日～ 24 日

www.composec.com

台北ワールドトレードセンター南港館


担当：Veronica Chen

TEL：886 2 26599080 # 777

Mail: Veronica.Chen@newera.messefrankfurt.com

Pre-register Now!

www.composec.com

 messe frankfurt

国内



高速光無線システム CANOBEAM 1000BASE-SXモデル DT-130

- ・同社「CANOBEAM」シリーズの最上位モデル
- ・データ伝送速度1.25Gbps
- ・伝送距離20m～1km
- ・電波障害や雨の影響にも強く、上下高速通信が可能
- ・安全なレーザ利用で、無届、無免許で利用可能
- ・ダム等大規模建設現場での映像やIP伝送路としての利用、自然環境、不法投棄等の長期監視システムの構築等に最適

キャノンITソリューションズ

URL : cweb.canon.jp/indtech/canobeam

☎ : 03-5730-7970



GV-IPCAM H.264 4M Fisheye

- ・4メガピクセルプログレッシブスキャンCMOS搭載
- ・H.264/MPEG 4 / MJPEG映像圧縮により、高画質、長期間録画(GV-DVR/NVRシリーズ統合時)
- ・360度全方向撮影
- ・2048×1536(QXGA)対応
- ・PoE給電対応
- ・GV-DVR/NVR/CMSシリーズとの映像統合

Geo Vision

URL : www.geovision.co.jp

☎ : 03-5639-9355



インテリジェントデータ イトIPカメラ NBN498 Dinion2X

- ・20ビット映像処理で類まれな色再現性
- ・SmartBLCと2Xダイナミックレンジ技術が同時作動
- ・H.264映像圧縮により帯域およびストレージ容量を最大50%以上削減
- ・カメラ内蔵インテリジェント映像解析
- ・3種のプロファイルでストリーム出力
- ・PoE対応
- ・ONVIF準拠
- ・メーカー Bosch Security Systems / ドイツ

ホーチキ

URL : www.hochiki.co.jp/business/cctv/

☎ : 03-5759-4164



ライトカム LDR-200PC

- ・200万画素カメラ付デジタルレコーダ
- ・4段階調整可能な高輝度LED24個を搭載
- ・約390gと軽量でコンパクト
- ・1.5型LCDモニター付き
- ・マイクロSDHCカード・スロット内蔵
- ・IPX4準拠の防滴構造で屋外運用が可能
- ・充電式単三ニッケル水素電池6個を使用。
- ・アルカリ乾電池が使用可能

ケルケ電子システム

URL : www.kelc-e.com

☎ : 075-593-2103



パン・チルト ネットワーク カメラ CS-WMV043G-NV

- ・暗闇でも撮影可能
- ・固定回線がなくてもネットワークへ接続可能
- ・iPhoneやiPadでパン・チルト操作&リアルタイムモニタリングが可能
- ・動体検知機能・お知らせアラーム機能搭載
- ・メガピクセルで高解像度の映像を撮影
- ・パン・チルトで幅広い視野を確保
- ・SD/SDHCメモ리카ードスロット搭載
- ・マルチカメラ機能
- ・RoHS対応

プラネックスコミュニケーションズ

URL : www.planex.co.jp



IS100画像センサ

- ・取り込んだ画像を解析して、侵入者、不審者、置き去り/持ち去りを検知し、異常情報を警備用送信機などへ接点信号で出力
- ・本体に、ディスプレイ、キーボード、マウスを接続することで、監視エリアや検知対象の設定などが可能
- ・監視したいエリアを自由に設定でき、複雑な形状のエリア設定も可能
- ・検知画像として8,000枚の画像を保存可能

サクサ

URL : www.saxa.co.jp

☎ : 03-5791-3930

国内



H.264スタンドアロン DVR SDRシリーズ SRD-716Pro

- ・ H.264録画圧縮採用
- ・ 3つの方法による操作可能
- ・ 用途に応じた録画方法
- ・ 幅362mm、重量5.5kg&4ch、8ch、16chの画像入力をサポート
- ・ バックアップ機能
- ・ 最大4基のHDD内臓6TB搭載可能
- ・ ズーム機能搭載
- ・ 録画検索再生機能
- ・ 充実した音声入力機能
- ・ 遠隔リモートソフト

エスエスユニット

URL : www.ss-unit.co.jp

☎ : 045-250-0680



SecureEye-1080p-N

- ・ iridix 網膜模倣原理輝度補正機能
- ・ フルハイビジョンからのダウンコンバート
- ・ プログレッシブNTSC切り出し
- ・ Day & Night自動切り替え機能
- ・ IRカットフィルタ自動切り替え
- ・ ペダスタル調整機能
- ・ KNEE調整機能
- ・ プライバシーゾーン機能
- ・ RS-485制御可能
- ・ 希望小売価格178,500円(税抜 170,000円)

ストアネット

URL : www.storenet.co.jp

☎ : 045-476-2935



屋外赤外線プログレッシブ カメラ C-CV450PR2

- ・ 「IP66」対応の防水性能を備え、そのまま野外に設置が可能
- ・ 逆行補正機能、最大4倍の電子感度アップ機能搭載
- ・ 夜間になると、自動的に感度の高い白黒撮影に切り替える「デイ/ナイト」機能を搭載
- ・ 赤外LED投光器を搭載し、光源が全く無い暗闇でも撮影可能

TOA

URL : www.toa.co.jp

海外



フルHD 監視カメラ・モジュール

- ・ フルHD/光学18倍ズーム・モジュール
- ・ HDMI/DVI カメラとHD-SDIの2系統インターフェース
- ・ 同軸ケーブル電源
- ・ 1080/60p 時で80dBワイド・ダイナミック・レンジ
- ・ 標準HDカメラより5段階優れたフルHDカメラ画像

Foresight Systems Technology/台湾

E-mail : foresight@foresight-systech.com



フルHDネットワーク・ドーム・カメラ EV8580U

- ・ F1.5の4mm固定焦点レンズ
- ・ 富士フィルム製F1.3の2.8~10mm/バリエーション・レンズ
- ・ 内蔵ICRによるデイ/ナイト・モード
- ・ H.264、MPEG-4、M-JPEG対応
- ・ フルHDを30fpsで実現
- ・ IP66基準の保証

Etrovision Technology/台湾

E-mail : etrosales@etrovision.com



HDネットワーク・ドーム・カメラ A-MTK AM9770M

- ・ ソニー製1/2.8インチセンサ搭載
- ・ H.264、MPEG-4、M-JPEGの3ストリーミングに対応
- ・ 4VGA上で1280×960ピクセルを25fpsあるいはHDモードで30fpsを実現
- ・ 2系統の音声ストリーミング
- ・ 10区分での映像上の動体検知
- ・ 外部から直流12Vの電源供給

A-MTK/台湾

E-mail : sales@a-mtk.com

海外



H.264メガピクセルカメラ メガ・ビューAV2825

- ・4.5~10mm 赤外線バリフォーカル・レンズ
- ・赤外線発光および3方向支柱に適合
- ・1.3/3/5メガピクセル・センサに対応
- ・投光距離25メートルの48個の赤外線LED
- ・H.264とM-JPEGの両方を同時サポート
- ・解像度1,920×1,080
- ・1080pで24fpsを実現

Arecont Vision/米国

E-mail : avsales@arecontvision.com



Alliance-mx カメラ

- ・H.264とM-JPEGを同時にストリーミング
- ・IP66基準を満たした屋内外用表面マウント・ドーム
- ・0.05ルクスでのデイ/ナイト操作
- ・H.264で720×480で30 fps、HD 1,280×720の720pで30fps、H.264で1920×1080のフルHD1080p時に15 fps
- ・PSIA とONVIFに準拠
- ・カメラ上での複数動体検知での2系統音声

IQinVision/米国

E-mail : sales@iqeye.com



RAIDストレージ・サブシステム

- ・8-Gファイバ・チャンネル2ポートと1-Gイーサネットアクセス、3Uで16 SAS/SATAドライブをサポート
- ・FCP、iSCSI、SMB、CIFS、NFS、FTPの複数プロトコルの動作をサポート
- ・RAID 0, 1, 1E, 3, 5, 6, 10, 30, 50, 60対応
- ・停電時に電源消滅後にLAN起動と自動再起動
- ・UPSサポートとOPAS操作をUSBから対応：システム回復情報、ファームウェア・アップグレード、急速インストール、パスワードのリセットなど

Promise Technology/台湾

E-mail : sales@tw.promise.com



デイ/ナイト・メガピクセル ネットワーク・カメラ FCS-3081

- ・1/2.5インチCMOSセンサ
- ・H.264とM-JPEGの圧縮技術に対応
- ・遠隔赤外線カットフィルタ
- ・3軸機構設計
- ・20メートル先まで投光する赤外線LED内蔵
- ・IP66基準のハウジング
- ・同時に20箇所表示をサポート

LevelOne/ドイツ

E-mail : salesdept@ddcasia.com.tw



VLイーサネット・メディア 変換器 ComWorx

- ・Transparent to data encoding and compatible with major data protocols
- ・あらゆる電源と信号入出力での電圧暫定保護により想定外の電源や電圧問題から保護
- ・同軸ケーブルでのイーサネット
- ・メガピクセル・イーサネット・スイッチ
- ・LED表示
- ・IEEE 802.3 準拠

ComNet/米国

E-mail : marketing@comnet.net



赤外線投光機

- ・電力消費を抑える省エネモード
- ・全出力にも対応
- ・タイマ制御モード
- ・遠隔からの微調整
- ・短時間の光量増大用ブースタ
- ・操作中に安定出力する常備照明機能

Promise Technology/台湾

E-mail : sales@tw.promise.com

国内



セキュリティゲート モードゲート

- ・ 透明感のある強化ガラスを多用し、シンプルで美しいデザインを実現
- ・ 上質感のある外観仕上げが、快適な空間を演出
- ・ 通行可能人数は1通路あたり毎分25人(最大50人)大型ビルでもスムーズな通行が可能
- ・ 通路幅には標準タイプ(500~600mm)と、ワイドタイプ(800~900mm)を用意
- ・ 不正通行は、ランプとチャイムでエラー通知

クマヒラ

URL : www.kumahira.co.jp

☎ : 03-3270-4388



PicoA(ピコア)

- ・ 扉にシステムを集約することで機器費、施工費を大幅に削減
- ・ 多彩なオプションで、要望、予算に沿ったシステム提案が可能
- ・ 扉につけるタイプのカードリーダーでユーザビリティも向上
- ・ 非接触型ICカード「FeliCa®」を採用、「おサイフケータイ®」を利用することが可能
- ・ 全機能を扉の中に集約するため、工数・工期ともに短縮

美和ロック

URL : www.miwa-lock.co.jp

☎ : 0120-81-3069



PalmBASE

- ・ 静脈認証及び非接触ICカード認証可能
- ・ 認証方式を分けての利用可能
- ・ カード製作費削減、紛失等のトラブル防止
- ・ 1台で1,000人まで登録可能、認証速度1,000人時1~2秒
- ・ LAN接続で、複数台同時使用可能
- ・ 出勤、退勤、外出、戻りのステータスを通知
- ・ インタフェスは管理PCで行い、リアルタイム/バッチどちらも可能

フィットウェア

URL : www.fitware.co.jp

☎ : 03-6381-2968

海外

非接触型 退室盤

- ・ 感知範囲は10cm以内
- ・ 高信頼性のIR技術で動きを感知
- ・ 二次汚染を回避する非接触型
- ・ ステンレス/白色プラスチック製シングルギャングプレート
- ・ 手に反応して0.5秒で動作する3Aリレー
- ・ LEDが感知範囲を表示して認識を容易に判断
- ・ LED色の变化で接続を表示
- ・ 非ねじ込み式のターミナルブロックで簡単接続



Superior Electronics/台湾

E-mail : info@superior-elec.com



RFID技術を採用した ウェブベース指紋読取機

- ・ ウェブベースでの登録で簡単操作
- ・ 13.56MHz帯域のRFID技術
- ・ 光学または半導体型を用意
- ・ LED 3色による表示

GIGA TMS/台湾

E-mail : promag@gigatms.com.tw

統合型入退 管理システム

- ・ システム切断時でもドアの入退管理
- ・ シーメンス社との共同開発のオンライン入退管理
- ・ 1システムでのユーザ数とドア数が無制限
- ・ 1枚のカードで2つのシステムに対応
- ・ すべてのイベントをシーメンス社統合記録簿に表示
- ・ 目的別に設計した統合型セキュリティソリューション



Salto Systems/スペイン

E-mail : info@saltosystems.com

国内



**HORNET BeeSensor
BEE110**

- ・自動車用簡易型警報機
- ・豊田警察署と共同開発
- ・2011年2月発売予定
- ・豊田警察署管内(豊田市、みよし市)の住民の方へ案内予定
- ・限定販売品として加藤電機WEBサイトでも販売予定

加藤電気

URL : www.kato-denki.com

☎ : 0569-26-0088

海外



**オールインワン侵入検知
センサ WiseEye**

- ・小型/軽量ユニットに映像センサ、高性能侵入検知ソフト、IP通信機能を内蔵したオールインワンタイプ
- ・変動する周囲環境を自動学習しプラグアンドプレイで様々なシーンに対応
- ・映像クリップを含む侵入情報を電子メールでスマートフォンに通知可能
- ・IP66に準拠した防水/防塵性能により屋外環境動作が可能

日本通信エレクトロニク

URL : www.jacom.com

☎ : 03-3456-5721



映像確認表示器

- ・二方向性IR内蔵カメラ
- ・12メートル先まで届く4つのIR LED
- ・4G受信機の範囲
- ・3色LEDで表示器をカバー
- ・QCIF画像を10~15秒以内に送信

JR Security Systems/スペイン

E-mail : jrsecurity@jrsecurity.com

海外



**高速送信の無線
セキュリティシステム**

- ・通信機能内蔵の超小型無線セキュリティシステム
- ・PSTN通信機を標準内蔵、内蔵型GSM/GPRSはオプション
- ・放送通信モジュールは近日対応
- ・ユーザの幅広い範囲の要求や予算に適った家庭用セキュリティ対策に最適
- ・対応周波数は315、433、686MHz

Visonic/イスラエル

E-mail : marketing@visonic.com



炎検知器

- ・ISP技術：専用の内蔵プロセッサによりセンサ信号を継続して事前処理
- ・塵埃や温度変化などの周囲の影響に対抗
- ・煙濃度や2つのLEDの発する微量の光量比率や波長の違いによる二つの光線技術の応用

Bosch Security Systems/ドイツ

E-mail : apr.securitysystems@bosch.com



**光電式グラフィック
警報ハンドラ**

- ・文字と絵を組み合わせた警報表示器
- ・警報の表示とそれに対応したハンドラ
- ・警報拠点の限定
- ・地図上での位置表示
- ・光電式入退管理に統合

Nedap Security Management/オランダ

E-mail : info@nedap-securitymanagement.com

遅い通信工事に???

IP監視システムを初めて導入する顧客から依頼を受けて、専用の光電話工事をNTTに依頼した。すると、工事まで1週間以上待たなければならないとの回答だった。これを聞いて最初はそのような企業体質への批判が頭をよぎっていたが、そのうちこのことが滑稽に思えてきた。それは、光通信にすれば通信速度が圧倒的に速くしかも大容量の通信が可能とか、いろいろと用途が広がり便利とか大々的に宣伝しているにもかかわらず、その大前提となる開設工事はアナログ通信工事体制のままのように思える。しかも年末年始はもちろん、週末も一般顧客対応は一切行わない。これでは、顧客が逃げるのが当たり前と思うのは、工事を待たされた私だけではないような気がする。

(東京 システム構築)

IPネットワークカメラのデイ/ナイト切り替え

貴誌ではIPネットワークカメラに関する情報を様々な角度から取り上げているが、もう少し実務的な情報も載せていただくと、もっと役に立つ実務誌となれるのではないかと思う。例えば、アナログカメラではデイ/ナイト切り替え対応が一般化しているが、実はIPカメラ特にメガピクセルカメラでこそ、帯域やレスポンスに大きく影響を及ぼすため、その対応や対策が重要だと思う。こういった情報は、現場経験のある産業従事者から是非取材して掲載していただきたいと思う。

(神奈川 管財会社)

PSIAに関する情報

IPネットワーク映像システムには大きく2つの標準化団体すなわちONVIFとPSIAが存在する。ONVIFについてはいくつかのメディアで情報を得ることができるが、PSIAについては詳細な情報を知る機会がほとんどない。有体に言えば、日本ではこの団体の存在すら知られていないだろう。日本企業が参加していないからなのか、情報を公開していないのか、それとも決定した情報がそれほどないのか理由はともかく、何らかの情報を掲載していただきたい。水面下で蠢いていたものが突然表面化して、いきなり「これが標準仕様だ!」と言われても市場もユーザもただ混乱するだけだ。

(大阪 製造業)

「読者の声」を募集しています。

本誌では、セキュリティに関する読者の皆様のご意見やご提案を募集しています。セキュリティ機器やシステムを供給している側、セキュリティシステムを既に導入あるいは導入を予定している側いずれからのご応募でも結構です。お寄せいただいた内容については、有識者による適切な回答を掲載以降に発行する本誌に掲載します。ただし、特定企業や団体または個人に対して誹謗中傷または批判する内容をご遠慮ください。

一例を挙げると、セキュリティシステムを導入したいがどのような手順で進めればよいのか、事前説明については複数の会社からの説明を受けたほうが良いのはわかるが、その内容が理解できないときはどうすればよいのかなど、セキュリティに関することであれば詳細は問いません。また、原則として匿名で掲載しますので、個人情報や漏洩する懸念はありません。

ただし、正確な回答をご案内するために、導入条件や環境についてはできるだけ具体的に記載してください。ご応募をお待ちしています。

A&S JAPAN 編集部

TEL 03-6206-0448

FAX 03-6206-0452

reader@asj-corp.jp

A&S JAPAN JAN/FEB 2011 (No.20)

広告主	掲載頁
R.O.D	表1, 4-5
インターシル	11
エヴァーフォーカスジャパン	22-23
ソニー	10
店舗プランニング	3
日本経済新聞社	27
ネットカムシステムズ	表2
HONEYWELL	表4
MINTRON ENTERPRISE	表3
MOBOTIX JAPAN	9

*広告索引は本誌の任意サービスです。誤字・脱字などに関する責任は負いかねます。

The advertisement features a background image of a man in a white shirt and green vest, wearing glasses, looking up in a library filled with bookshelves. He is holding a mobile phone to his ear. Overlaid on the image is a search interface for asmag.com. The interface includes a search bar with the text "IP Surveillance", a dropdown menu for "Product", and a "GO" button. Below the search bar, there are "Hot Keywords: DVR | CCTV | IP camera | H.264 | NVR | IP Surveillance". The text "Check it out" is written in a large, stylized font on the left side. The asmag.com logo is in the top left corner, and the website URL "www.asmag.com" is in the bottom right corner with a hand cursor icon pointing to it.

asmag.com
Global Security Web

The Security Search Platform

Latest Products, Suppliers, Technologies, Solutions and Cases

Check it out

Search: Product

Hot Keywords: DVR | CCTV | IP camera | H.264 | NVR | IP Surveillance

www.asmag.com

高感度で 高解像度を実現

1080p/720p 50/60fps HDカメラ



HD-IP カメラ

- HD 720pマルチプル・ストリーム
- コーディック：H.264 / MPEG-4 / M-JPEG
- CVBS



メガピクセル モジュール

- イメージセンサー：1.3~3M CMOS / CCDセンサー
- ARM / メモリー内蔵
- デジタルビデオ出力：YUV 4:2:2 16bit (SMPTE 274M/296M)
- CVBS 出力：560TVL or 700 TVL (NTSC/PAL)
- 機能調整可能：Peak / BLC / XDR / 3D DNR / A.E.S / DC-IRIS
- IRカット切り替え
- コミュニケーション：RS-232C / OSD
- 低消費電力化



3G-SDI カメラ

- 非圧縮ビデオ：720p/1080p
- 同軸ケーブルで伝送可能
- バイトレート：2.97Gb/s SMPTE 292M/424M
- ワンケーブル：
ビデオ/オーディオ / RS-232C 搭載
- CVBS

MINTRON ENTERPRISE CO., LTD.

No.123, Wu-Kung 1 Rd., Wu-Ku Industrial Park, Taipei (248), Taiwan

Tel : 886-2-22990277 E-mail: service@mintron.com.tw

Fax: 886-2-22989375 Web : www.mintron.com Skype: mintron3601



ISO-9001



ISO-14001



RoHS



QC080000



Booth NO. L518



Booth No. N712-N715

Honeywell アクセス コントロール システム



Pro-Watch - 大規模グローバル統合セキュリティシステム

世界有数のグローバル企業が採用しているPro-Watchシステムは、すでにその安定性と信頼性を広く認められています。中規模/大規模プロジェクトへの導入にも最適の性能を持っており、ハネウェルのCCTV、センサーシステムとも統合することができます。

IP-AK2 - 小規模アクセスコントロールシステム

IP-AK2 アクセスコントロールシステムはS/Wのインストールなしに、webベースのソフトが組み込まれたソフトを使用し低コストでシステムを運営でき、小型プロジェクトに適したアクセスコントロールシステムです。

Honeywell

Honeywell Security North Asia

(〒105-0022)東京都港区海岸1-16-1ニューピア竹芝サウスタワー21F(受付20F) 電話: 03-6730-7195 FAX: 03-6730-7229
5F, Sangam IT Tower 1590, Sangam-Dong, Mapo-gu, Seoul 121-835, Korea
Tel: (82)2-799-6020, 6006 Fax: (82)2-799-6188 www.honeywell.co.kr/security/english